

## 平成 27 年度皇居外苑桜田濠石垣修復工事特記仕様書

### I. 工事概要

工事名称	平成 27 年度皇居外苑桜田濠石垣修復工事
工事場所	東京都千代田区皇居外苑 日比谷濠
工 期	契約締結の日 ～ 平成 28 年 3 月 31 日
工事規模	石垣修復工 2 箇所 ① 工区 L=16.0m (石垣撤去・修復範囲)、平均 H=1,605mm ② 工区 L=16.0m (石垣撤去・修復範囲)、平均 H=2,110mm
工事種目	自然環境共生工事
工事概要	「特別史跡江戸城跡」に指定される桜田濠の石垣において、崩落及び顕著な孕みが確認された。このため石垣の修復の積み直しを行う。

### II. 適用

- この特記仕様書は、「自然公園等工事共通仕様書（自然公園編）」（以下「共通仕様書」という。）でいう特記仕様書で、本工事に適用する。
- この工事の施工に当たっての一般事項は、共通仕様書による。

### III. 工事共通図書及び参考資料

本工事は、本設計書の他下記の図書による。

- (1) 自然公園等共通仕様書（自然公園編）（環境省）
- (2) 土木工事共通仕様書（国土交通省）
- (3) 土木工事必携 土木共通仕様書（関東地方整備局）

### IV. 特記事項

#### 1. 特記すべき地域事項の概況

- 文化財保護法による史跡名勝天然記念物  
特別史跡江戸城跡
- 旧皇室苑地の運営に関する件による国民公園

#### 2. 一般共通事項

- 工事に伴う安全管理については、関連法規を厳守し万全を期す。
- 施工に先立ち、工事共通図書を充分熟読し、施工計画書を立案し事前に監督職員の承諾を得る。
- 施工計画書は、特に石積、仮設工については詳細計画を立案し事前に監督職員の承諾を得る。
- 協力業者ならびに材料メーカーリストを監督職員に提出し、さらに特殊技能を有する石工事に関しては、技能者の経歴書を提出し承認を得る。石工事協力業者を選定するにあたっては、国指定史跡等の石垣の修復経験者を有するものとする（上記技能者の経歴書に文化財等にかかわったことがわかる経歴を提示すること）。
- 石材、木材、その他監督職員等の指示する材料は、「材料承諾願」提出時に見本品を提出し監督職

員の承諾を得る。

- 法令による制限事項等がある場合は、法令の規定の遵守方法について監督職員に指示を受ける。特別史跡江戸城跡の現状変更手続きについては事前協議予定である。
- 特別史跡江戸城跡であるため、工事前、現況測量・調査終了後、工事中、工事完了前に千代田区教育委員会の立ち会いのもと文化財調査を行い、施工内容の確認を行う。その際の資料の作成等の対応を行う。
- 仮締切設置後、石垣解体前、修復後に写真測量を行い、修復前後の立面図を作成する。
- 工事に係る仮設については次の点に留意するとともに、その施工方法については事前に監督職員等と協議し承諾を受ける。
  - (1) 工事期間中は、利用者の安全を確保しながら行う。
  - (2) 作業場敷や資材置場敷が必要な場合は最小限とし、協議することとする。
  - (3) 利用や景観にも十分配慮した位置や仕様とする。
- 資材置場、仮設事務所の設置に際しては、監督職員の指示を受ける。
- 周辺の環境および自然環境等に影響を及ぼすおそれがある場合は、施工時期および施工時間帯について監督職員と協議のうえ、設定する。
- 希少な動物の生息が認められた場合には、直ちに監督職員と協議し、その個体及び生育環境の保全のための適切な措置を講じる。
- 工事現場の見やすい場所に、工事名・工事目的・工事期間・事業主体名・工事受注者名・現場責任者名・電話番号を記した標示板を設置する。標示板は工事に関する情報を分かりやすく提供するように内容については、監督職員と協議のうえ、決定する。
- 工事揚水及び工事電力は受注者の負担とする。構内既存設備は利用できる。
- 現場代理人は当該主旨を充分理解したうえで、工事に携わる全ての作業員に浸透するよう指導する。
- 設計図書に疑義が生じた場合又は、明示のない場合は、書面をもって通知し、監督職員と協議のうえ、内容を確定する。
- 本工事の着工にあたり、既設物、地盤高等の確認のための現況測量・調査を行い、その結果を監督職員に報告する。
- 施工上の納まりまたは取り合い関係で、材料、寸法、取り付け位置、取り付け工法等について軽微な変更および測量誤差に起因する地盤高さ等の軽微な変更は、監督職員と協議する。協議の結果は、記録し、監督職員に提出する。なお、これらは、原則として現場処理とする。
- 仕様書および本図書に記載がなくとも、本工事を遂行するうえで当然必要な施工上の事項については受注者の負担にて処理する。
- 工事範囲内の占用物件等については、埋設状況等を把握し、これに損傷を与えないように十分に注意して施工する。
- 施工に先立って、既に損傷を受けている箇所について調査し、その結果を監督職員に報告する。
- 本設計図書に記載のない既設物の解体・撤去の際は、写真撮影を行い形状寸法・数量を監督職員に報告し、承諾を得てから、解体・撤去を行う。
- 本工事で生ずる発生材は、形状寸法・数量を監督職員に報告し、指示に従って措置する。
- 現場加工品の色彩については、別途「色彩計画書」による他図面に明示されていない場合、監督職員等と協議し色彩を確定する。
- 残土、表土等のダンプトラック運搬に関しては、必ずシート掛けを行う。
- 掘削土砂等の材料を仮置きする場合は、降雨等により周辺に流失することのないように、土嚢積

みやシート掛け等の適切な対策を講じる。

- 常に、資材および作業機械・工具の整理整頓に努めるとともに、吸い殻、ゴミの管理は徹底する。
- 既存測量杭がある場合は、工事中、必要に応じて引照点をとるなどして大切に扱う。
- 工事实績情報の登録を行う。
- 通称「グリーン購入法」に基づく、環境物品等調達推進に関する基本方針〔以下「基本方針」という。〕において位置づけられた、「特定調達品」に該当する材料及び建設機械等は、原則として基本方針に定める判断基準を満足するものを使用する。なお、やむを得ず判断基準に満たないものを使用する場合は監督職員の承諾を得るものとする。また、該当する使用資材・建設機械を工事完了時に、特定調達品目（公共工事）調達実績集計表を作成し提出する。
- 本工事は「建設副産物情報交換システム」（以下「システム」という。）の登録対象工事であり、受注者は、施工計画作成時、工事完了時、及び登録情報の変更が生じた場合は速やかに当該システムにデータの入力を行うものとする。監督職員への報告はシステムにより作成した〔再生資源利用計画書（実施書）〕及び〔再生資源利用促進計画書（実施書）〕により行うものとする。
- 本工事の施工にあたっては、「建設工事における建設副産物管理マニュアル」のうち「3施工編」に従い適切な処理に努めるものとする。
- 工事完了時にコスト縮減報告書を作成し提出する。
- 設計図（A4版2部）を製本し、（表紙、及び背表紙には、年度、工事名等を明朝体で記入）、監督職員に提出する。なお、費用については受注者の負担とする。

■ 完成時の提出図書

完成図	CAD データ	提出部数 1 部
	A 3 版	提出部数 1 部
施工計画書	データ	提出部数 1 部
	A 4 版	提出部数 1 部
工事提出書類	A 4 版	提出部数 1 部
文化財調査提出書類	A 4 版	提出部数 3 部

- ・ 提出する図面の種類及び記入内容等は共通仕様書及び監督職員の指示による。
- ・ 完成写真はカラーで1部提出する。ただし、原板は撮影者の保管とする。なお、撮影箇所等は監督職員の指示による。

### 3. 石垣修復工（解体準備・石垣解体工・裏込解体工・解体石材整理）

- 既存の石垣の取り外す部分と残す部分の見極めを現地で行い、石垣面に丁張りを行う。
- 既存の築石の積み直しができるよう、撤去前に事前調査、ナンバリング、築石の据付順序の確認、現況測量及び写真測量（オルソ画像及び図面作成）を行う。
- 本工事分と既設部分とのすり付けは、なじみ良く仕上げるため、監督職員より日比谷濠国道1号線沿いの境界測量図等の貸与をうけ、本工事での現況測量に基づく現在の変異の状態を把握し、線形の計画図を作成する。この計画図をもとに、石垣の解体調査を踏まえ隣接する石垣とのすりあわせを考慮した修復計画を作成し監督職員と協議し、承認を得る。
- 既存築石の撤去は、石を損傷しないよう丁寧に行う。崩落石は収集し修復材として使用する。
- 築石の撤去時には、既存石垣の構造、基礎構造等を調査し記録する。修復時には、解体に伴い解明してきた構造を基本としながら堅固な石積みにするため、既存石垣の構造が設計と大きく異なる時は、監督員に報告し指示に従う。
- 解体した築石は整理保管し、破損・形状・大きさ等を調査記録し台帳を作成する。

- 石垣の解体と並行し、裏込めの解体を行う。
- 裏込め等解体時に石材が発生した場合は、洗浄し再利用に材質上問題がないか確認したうえで監督職員に報告し指示に従う。

#### 4. 石垣修復工（土工）

- 掘削にあたっては、既設埋設物を破損しないように事前に調査する等留意し、障害物等が発見された場合は、監督職員と協議する。
- 裏込め層背面の地山については、掘削勾配を75°勾配（地山の種類：その他）で想定しているが、試掘等の事前調査により地山の状態を確認し、調査結果に適応した安全なものとした計画で作業をする。
- 工事全般を通じ、石垣解体、裏込解体、裏込層背面掘削、基礎床掘り、基礎杭打ちにあたっては埋設物に留意し行う。
- 植栽地に対して必要以上の機械の出入りは避け、土壌の固結防止を図る。
- 掘削工にあたっては、特殊土壌（土丹、礫、固結粘土等）が出現した場合は監督職員とその措置を協議する。
- 埋戻土の運搬および敷均しについては、雨天後の含水比の高い状態での作業を行ってはならない。
- 裏込層背面の発生土、石垣天端上部の発生土については、裏込層背面の排水性等について問題ないか確認をし、埋め戻し土に再利用する。発生土の苑内保管場所は監督職員の指示に従う。
- 裏込層背面の埋戻しにあたっては、試掘等の事前調査をもとに適応した計画で作業するとともに、石垣法線を確認しながらタンパなどで転圧する。
- 裏込層解体の発生土は処理場への運搬搬入するものとするが、敷均しは受注業者において行うとともに土量を確認できるよう必要な資料を整備するものとする。

#### 5. 石垣修復工（石垣基礎工）

- 石垣の解体終了後、石垣基礎部の状況を確認し撤去を行う。基礎の支持力が弱いと思われる部分については監督職員と協議し、その指示にしたがって改良を行う。
- 石垣基礎は、栗石（φ100～150）と目潰し砂利を付き固め基礎基盤をつくる。土台木と枕木を組み合わせつくる梯子胴木の周りにも栗石・砂利を詰め梯子胴木が安定するようにしっかりと締め固める。
- 梯子胴木の土台木が滑らないよう枕木には切欠きを作り組むものとし、土台木全面に留杭を打設する。土台木の高さ・位置は取り付く既存石垣の基礎に合わせる。土台木の継ぎは、大工により行うこととし、「相欠き継ぎ」「そぎ継ぎ」を基本とし、既存部分の石垣は「付き付け」とする。
- 基礎杭は土台木を乗せ荷重を受けることが出来る位置に機械で圧入する。
- 土台木、枕木に使用する木材は、国産合法木材とし、マツ赤身6割、年輪幅3mm程度とする。

#### 6. 石垣修復工（石積修復工）

- 既存の築石による積み直しを原則とする。ただし、既存築石には形状・大きさ等不適格の物や、数の不足、破損等の老朽化を生じていること、また裏込層の無いことが想定される。  
このため、仮締切設置後に水面下より出現後に実施する石垣の現況測量、試掘による裏込層背面土の状態、基礎の状況、築石の個々の状態、破損した築石の配石状況をもとに、修復により石垣の保護及び安定性の確保できる施工図を作成し、監督職員と協議し、承認を得る。
- 既存築石は、作成した台帳を基に個別の位置や状態を把握した上で、再利用の可否を計画する。既存築石の取り扱いは、①再利用②新補石材に交換（不適格な石材は、裏込め材に転用するか、苑内指定場所に保管）とする。

- 石積みは、①既存築石の再利用による積み直し、②既存築石の再利用の内、控えの短いものは、背面控え石からステンレス鋸で結束させて積み直し、③新補石材による積み直しとする。
- いずれも築石に手加工を施し、積み石同士の摩擦力確保のため、合端を出来るだけ確保する。
- とも飼い石、胴かい石・迫かい石（いずれも安山岩・小松石）を据え、また築石の左右上下に木っ端石を丁寧に詰めて強固なものにする。
- 積み石同士に隙間が出来ないように、とも飼い石等、十分に詰込み摩擦力をとる。
- 石を据える時は、ともを下げて据えることを原則とし、ともが上がった状態（逆石）にならないようにする。
- 石積み施工時は、「笑い合端」、「鏡石」、「逆さ石」、「縁切れ」、「四つ目地・通し目」、「芋串」、「毛抜き合端」、「アブリ」、などの忌み嫌う積み方は原則しない。
- 新補の石垣表面の築石は、新補石材を加工し、積石（安山岩・小松石 0.3m\*0.4m 控え寸法 L800 内外）を据えること。
- 背面押え石は、新補石材または支給石材を加工し、積石（安山岩・小松石 0.3m\*0.4m 控え寸法 L500 内外）を据える。支給石材は苑内に保管してある石材を使用する。
- 上記積石の寸法は、据え付け時の寸法とする。
- 新補石材は、材質、強度及び物理的特性や色合いなどを既存石（うちオリジナル）と極力同等とし、監督職員に材料承諾書を提出し承諾を得る。

## 7. 石垣修復工（裏込復旧工）

- 裏込栗石は各段ごとにすき間の少なくなるように、石工によりきちんと並べ、十分に目潰し材を施工の上、石垣法線を確認しながらタンパなどで入念に転圧する。
- 裏込栗石の施工にあたっては、箇所により栗石の大きさが異なることないようにする。
- 裏込栗石に再利用できない既存築石を混ぜて使用する場合は、大きな塊のまま使用するのでなく、小割にして用いる。また一箇所に集まらないようにする。
- 張り芝は根が活着し、かつ雨水の浸透を極力抑えるよう、表面勾配を2%程度とる。

## 8. 仮設工

- 大型土嚢（耐候性大型土嚢、3年）、間詰め土嚢を用いて仮締切を設置し、仮締切内を常時ドライな状態に保つこと。
- 一般財団法人土木研究センターの発行する「耐候性大型土のう」に関する性能証明書を受けた製品とする。
- 撤去にあたっては、間詰め土嚢は耐候性大型土嚢に土を入れ替えること。耐候性大型土嚢は、監督職員の指示する苑内指定場所に保管する。保管場所のシート・仮囲いについては監督員と協議により決めるものとし、シート・仮囲いの費用は別途とする。
- 仮設工に使用する土は、濠水の水質に影響のないものとし、監督職員に承諾を得る。

## 9. 安全対策

- 施工日は、平日（日、祝日を除く）、時間帯は、昼間施工（8:30 から 17:15 まで）を原則とする。なお、監督職員と協議のうえ、前後延長可能とする。
- 施工期間中は、監督職員と協議し、ガードマンを配置すること。誘導を行い利用者の安全を確保する。

## 10. その他

- その他、必要な場合は、監督職員と協議のうえ行う。

# 設計書

工事名称	平成27年度皇居外苑桜田濠石垣修復工事
工事場所	皇居外苑 桜田濠①+②
工事概要	石垣修復工 仮設工 1式 1式

# 本工事費内訳書

桜田線①+②

費目・工種・種別・細別・規格	単位	数量	単 価	金 額	摘 要	備 考
本工事費						
石垣修復工	式	1.000			1号・2号内訳書	
仮設工	式	1.000			3号内訳書	
直接工事費						
共通仮設費計						
共通仮設費(積上分計)						
運搬費	式	1.000			7号内訳書	
安全費	式	1.000			8号内訳書	
技術管理費	式					
イメージアップ経費(率分)	式	1.000			9号内訳書	
共通仮設費(率分)	式					
純工事費		1.000				
現場管理費	式					
		1.000				

# 本工事費内訳書

桜田藻①+②

費目・工程・種別・細別・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備	考
工事原価	式			-			
一般管理費等	式	1.000					
工事価格	式			-			
消費税相当額	式	8.0%					
請負金額				-			



内 訳 書

1号

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
解体準備工 水平垂直ライン出し・墨打ち、番号付け	m2	52.4				
石垣解体 クローラーレン 4.9t吊	m2	52.4				
石垣天端上部土 掘削・積込・運搬 バツグ村山積0.13m3 (土砂、小規模土工)	m3	12.0				
裏込め解体 人力切崩し・積込	m3	31.6				
解体石材整理 破損確認 現地仮置、整理、調査	m2	52.4				
基礎床掘 バツグ村山積0.28m3 (土砂、小規模土工)	m3	29.2				
土留め工 松杭・松矢板	式	1.0				
基礎栗石 敷並べ t=0.3m 割ぐり石 径50~150mm	m3	17.2				
人力木杭打込 根入80%以上 長1.2m 末口径9<D≤12cm	本	54.0				
人力木杭打込 根入80%以上 長2.1m 末口径12<D≤15cm	本	34.0				
枕木・土台木据付	m3	3.1				
土台木 (松) L4m*T17.5、20*W25cm	m3	2.3				
枕木 松太鼓落し(m3) L1.2m*T15cm	m3	0.8				
(小計)						

内訳書

2号

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
石垣復旧工	m2	52.4				
裏込め復旧工	m3	31.6				
新材栗石 φ50~150	m2	52.4				
新補石材 とも銅石、胴銅石、せり銅石 安山岩小松石	m2	10.5				
新補石材 間知石 控え600内外 荒加工共 安山岩小松石	m2	0.0				
支給石材加工	枚	4.0				
工事工区明示銘板	目	33.0				
御影石 (起点、終点)	m3	12.0				
ワフレンクレーン (賃料)	m2	136.0				
25T吊ホクレータ付日極						
埋戻工 (発生土、石垣天端上部)						
人力、タンバ締固め						
植栽工 (振芝)						
ノシバ						
(小計)						
計	式	1.0				

# 内 訳 書

3号

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
仮締切設置	式	1.0				第4号内訳書
仮締切撤去	式	1.0				第5号内訳書
組立台船2隻、引船兼交通船30ps2隻	式	1.0				第6号内訳書
計	式	1.0				

内訳書

4号

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
ポンプ運搬10t 積込・BH山積0.8m3 60km以下 DID有 土砂 良好	m3	442.6				
大型土のう工 製作 耐候性大型土のう φ110×110 長期仮設3年	袋	434.0				
大型土のう工 据付 作業半径6m以下	袋	434.0				
間詰め土のう工 製作 48×62	袋	2,604.0				
間詰め土のう工 据付	袋	2,604.0				
土木シート (軟弱地盤安定シート) ナイロン・ポリ系織布T0.25	m2	372.0				
遮水シート (ブルーシート) 3.6*5.4m ポリエチレン 井3000 3.0kg	枚	18.0				
潜水作業	日	12.0				
排水工 ポンプ据付・撤去 排水量40m3/h未満 口径150mm出力7.5kW	台	4.0				
排水工 同時2台運転 常時運転 発電機出力37kVA	日	87.0				
ワフレンクレーン (賃料) 25T吊ホーク付日極	日	10.0				
計	式	1.0				

内 訳 書

5号

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
大型土のう工 撤去 作業半径6m以下	袋	434.0				
間詰め土のう工 撤去	袋	2604.0				
潜水作業	日	8.0				
ラフレンソクレーン (賃料) 25T吊おへレタ付日極 産業廃棄物処理工	日 式	8.0 1.0				
計	式	1.0				

桜田 濠 組立台船2隻、引船兼交通船30ps2艇

# 内 訳 書

6号

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
組立台船 (カマクラ→4.9t吊) 2隻	日	110.0				
引船兼交通船 引船30ps 2艇	日	110.0				
組立台船消耗品費 2隻	式	1.0				
計	式	1.0				

運搬費 (往復)

内 訳 書

7号

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
重機運搬費	式	1.0				
組立台船 (クワラール4.9t吊) 2隻 往復	回	1.0			小計行	
引船兼交通船 2艇 往復	回	1.0				
仮設鋼材運搬費、整備費	式	1.0				
重機機械分解組立	式	1.0				
組立台船 (クワラール4.9t吊) 2隻 組立艦装・解体とも	回	1.0			小計行	
計	式	1.0				

内訳書

8号

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
交通誘導員A(檢定合格) 昼間勤務(8時~17時)実働8h(交替要員無)	式	1.0				
計	式	1.0				



イメージアップ経費 (率分)

内訳書

9号								
名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考		
率分表示	%							
計	式	1.0		-				

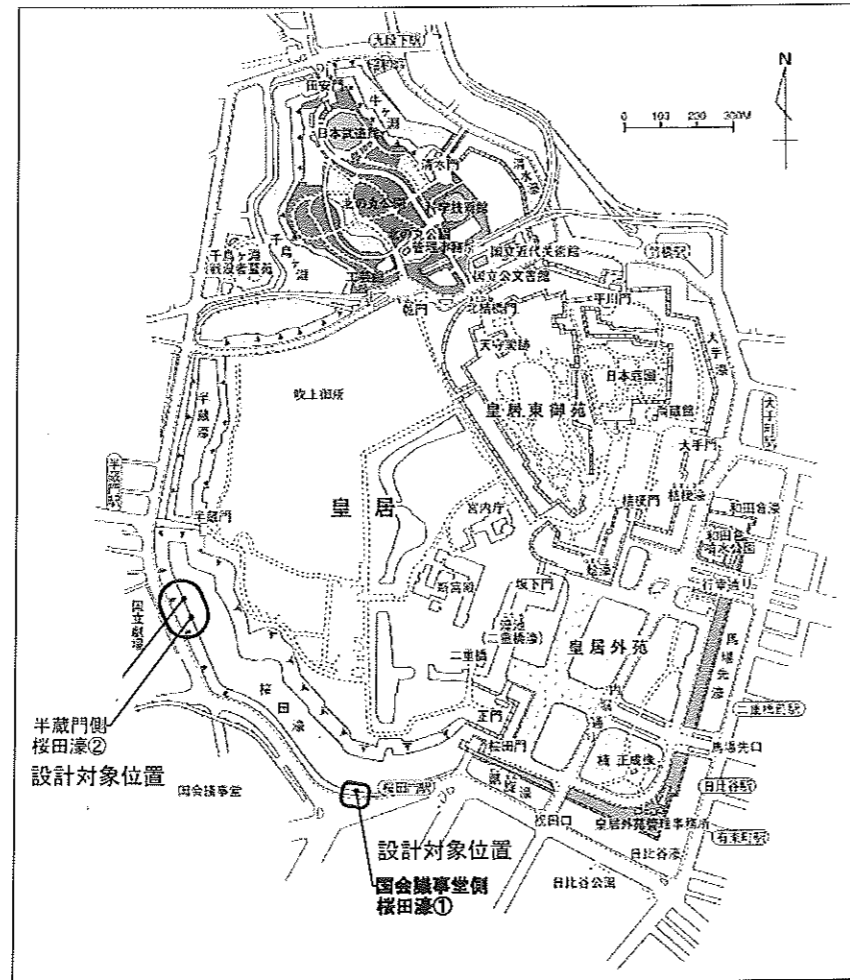
平成27年度  
桜田濠石垣修復工事実施設計  
設計図

平成27年

環境省 自然環境局 皇居外苑管理事務所

案内図 S=1:2000 (1:1000)

[桜田濠]



図面目次

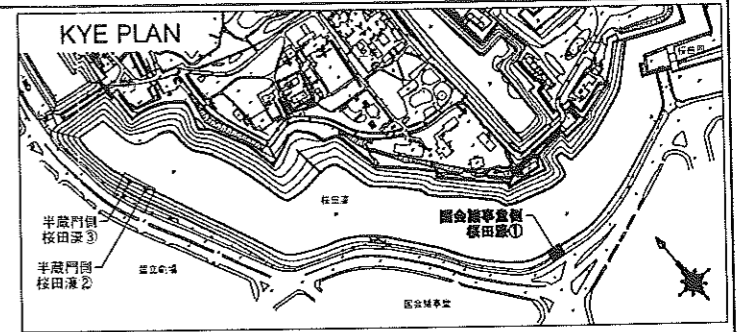
図面名称	頁
案内図・図面目次	1
桜田濠①修復設計図	2
桜田濠①標準構造図	3
桜田濠①仮設計画図	4
桜田濠②修復設計図-1~2	5~6
桜田濠②標準構造図	7
桜田濠②仮設計画図-1~2	8~9

公園名称	皇居外苑 桜田濠		
工事名称	桜田濠石垣修復工事		
図面名称	案内図・図面目次	縮尺	図示
年月日	平成27年1	図面番号	1/14
会社名			
事務所名	環境省自然環境局長官外務省環境政策	用紙	設計

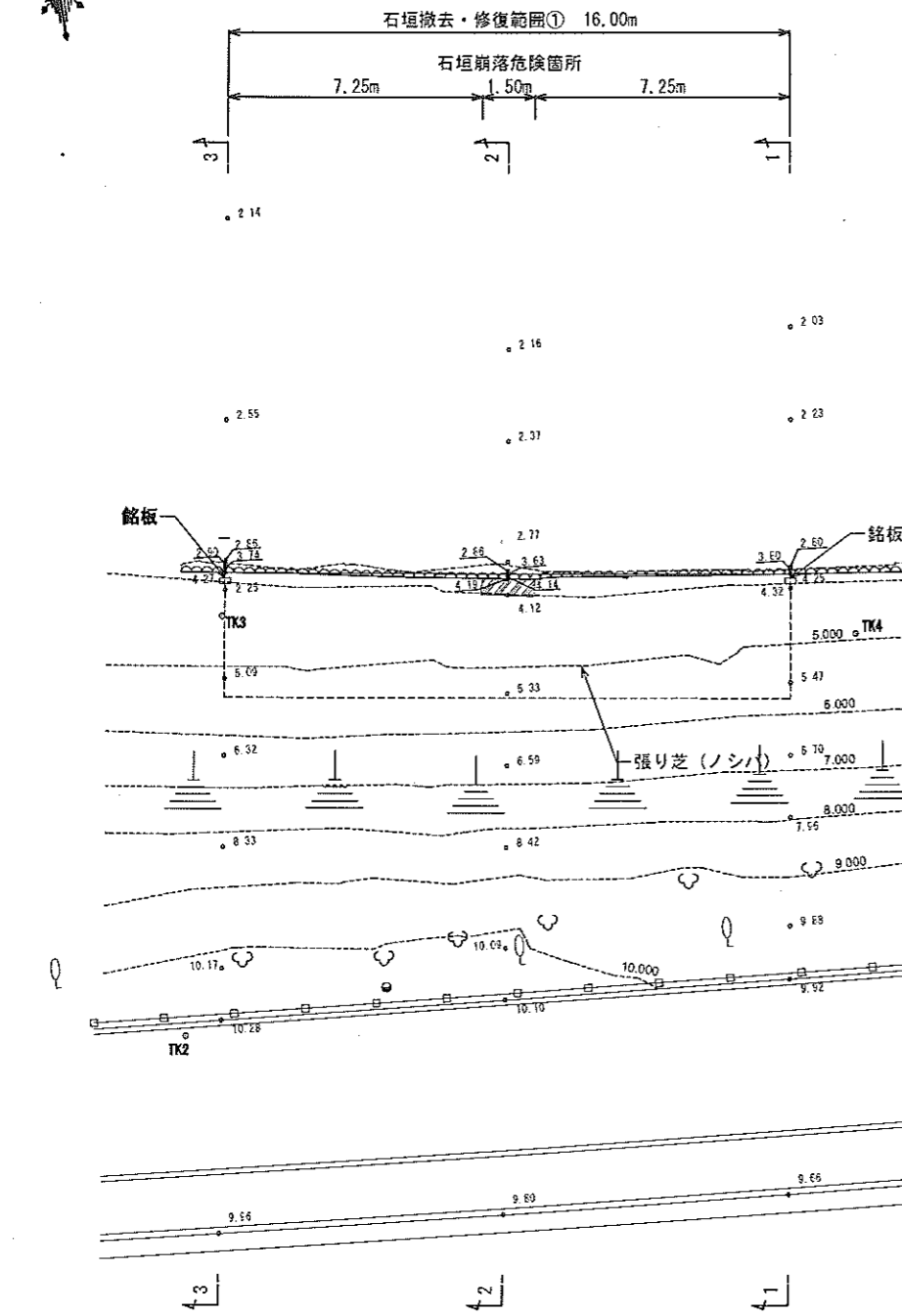
# 桜田濠①修復設計図

国会議事堂側

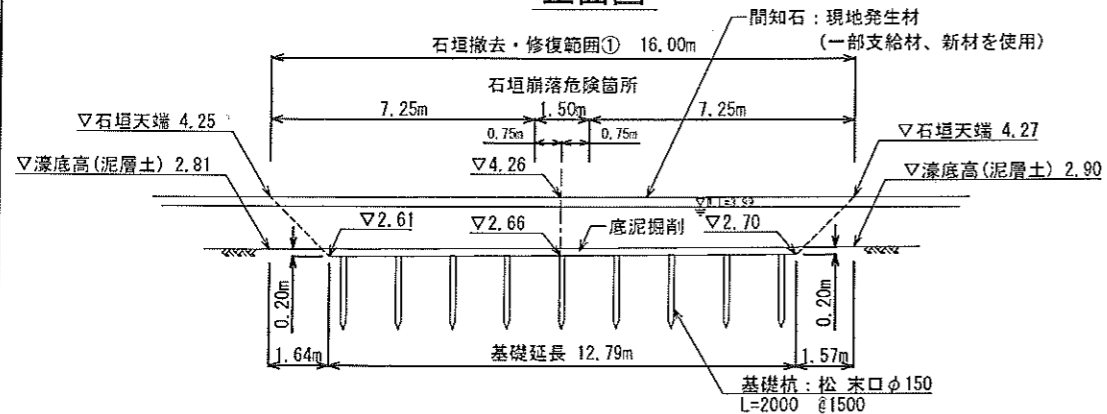
縮尺 1 : 200 (1 : 100)



平面図

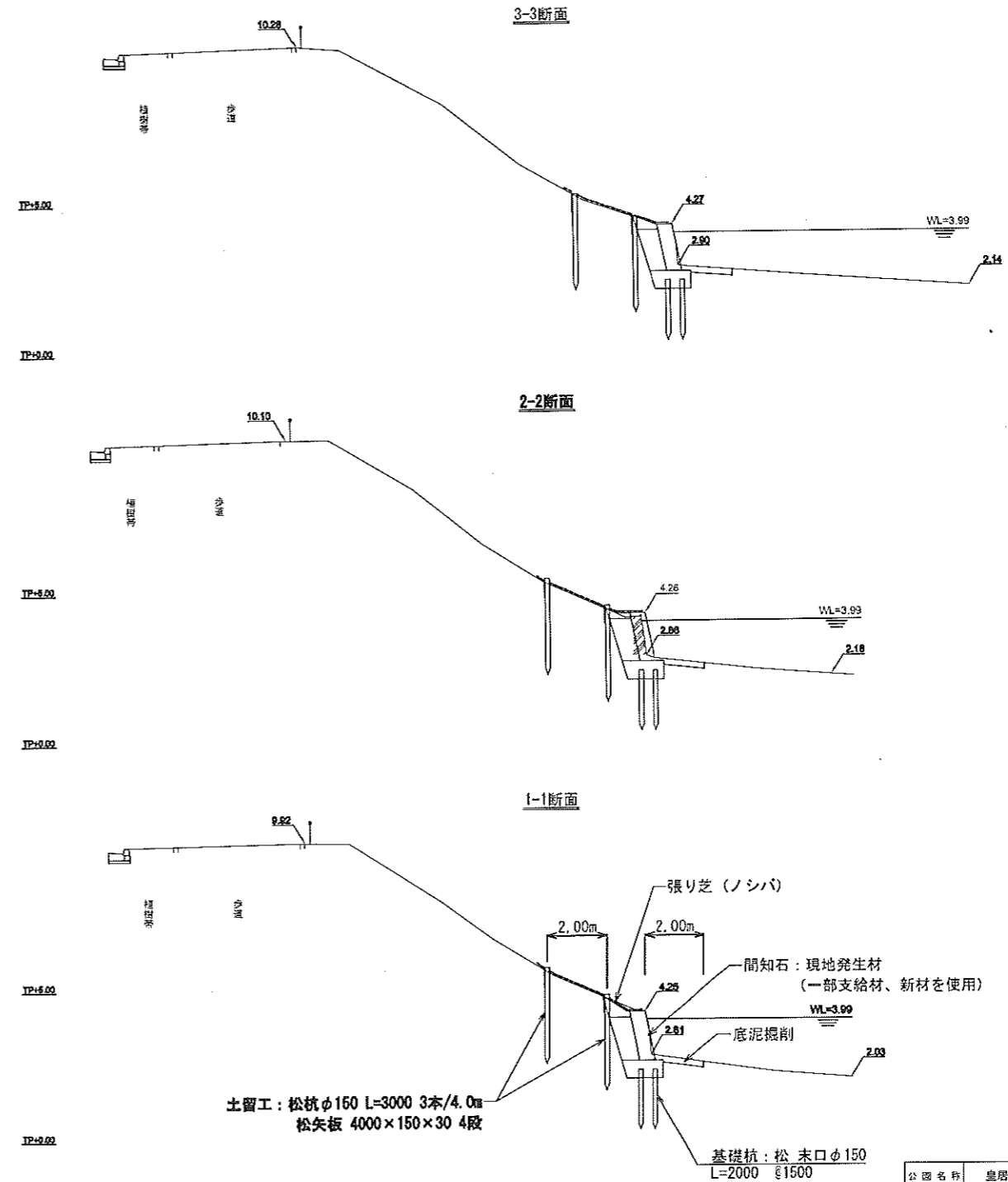


正面図



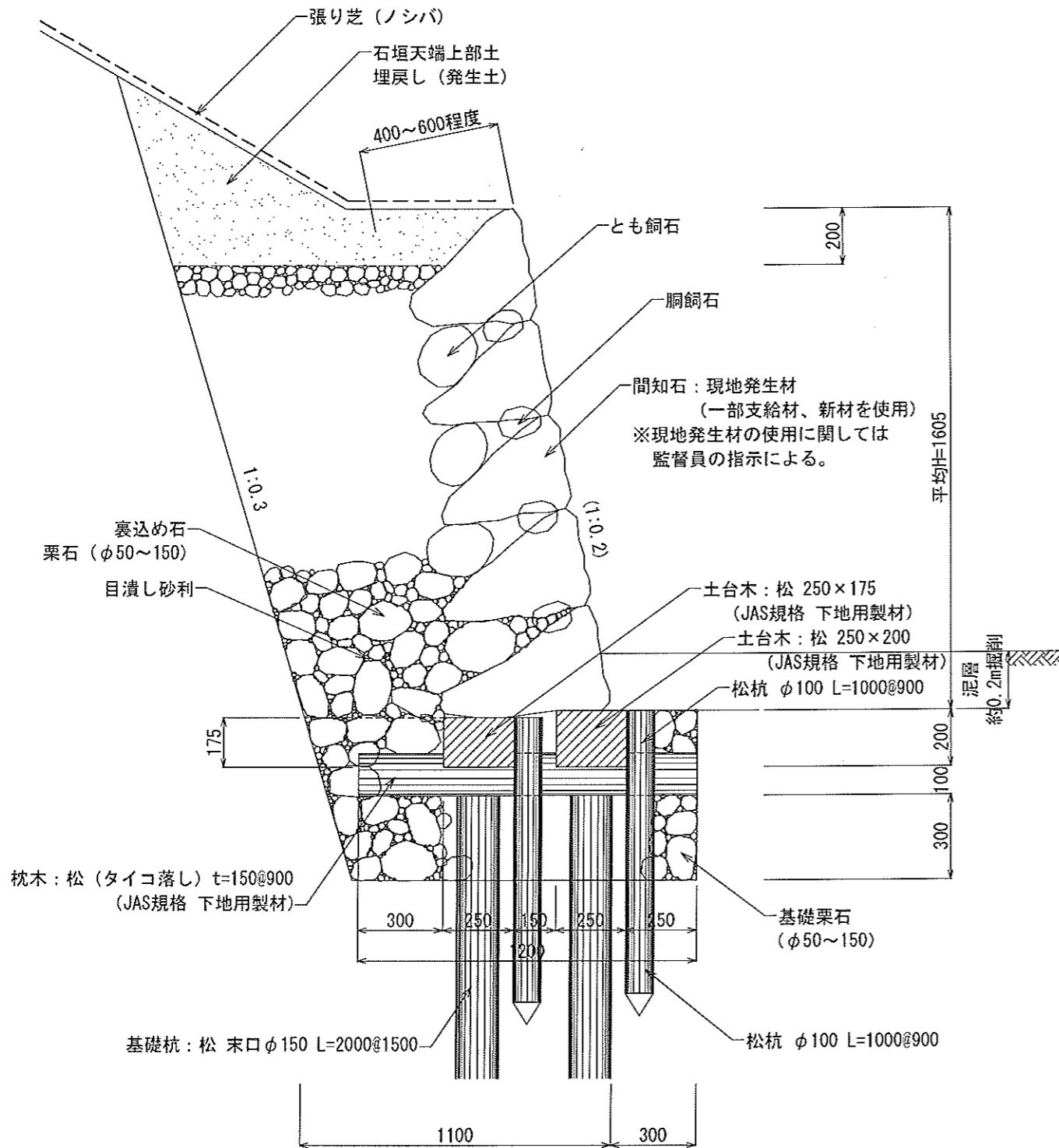
- 凡例
- 石垣崩落危険箇所
  - 孕み・緩み等の変状
  - 石垣
  - 街灯
  - 独立樹
  - 園庭
  - 斜面

断面図

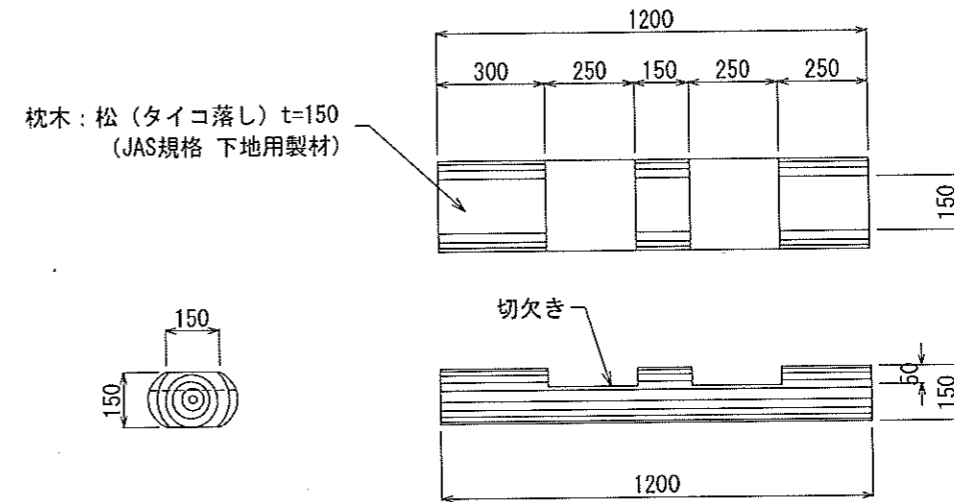


公園名称	皇居外苑 桜田濠	縮尺	1:200 (5:100)
工事名称	桜田濠石垣修復工事	図番	2/4
図面名称	桜田濠①修復設計図	設計	〇
年月日	平成27年	図面番号	2/4
会社名	〇	設計	〇
事務所名	東京都自然環境局皇居外苑管理事務所	監査	〇

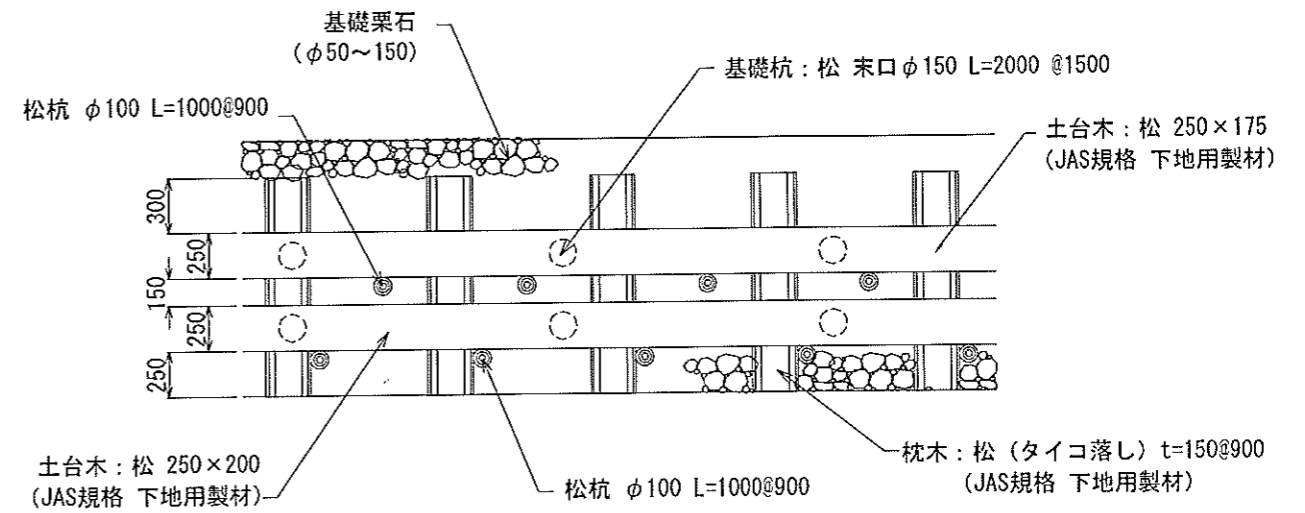
桜田濠①  
石垣標準断面図 S=1:20 (S=1:10)



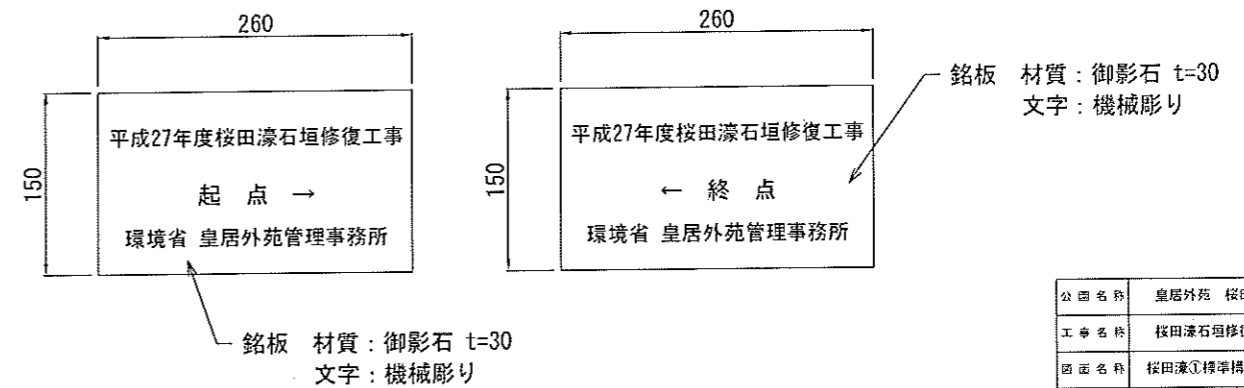
枕木詳細図 S=1:20 (S=1:10)



基礎詳細図 S=1:40 (S=1:20)



銘板詳細図 S=1:6 (S=1:3)



公園名称	皇居外苑 桜田濠		
工事名称	桜田濠石垣修復工事		
図面名称	桜田濠①標準構造図	階尺	同 示
年月日	平成27年	図面番号	3 / 14
会社名		西番	設計
事務所名	環境省自然環境院皇居外苑管理事務所	西番	設計

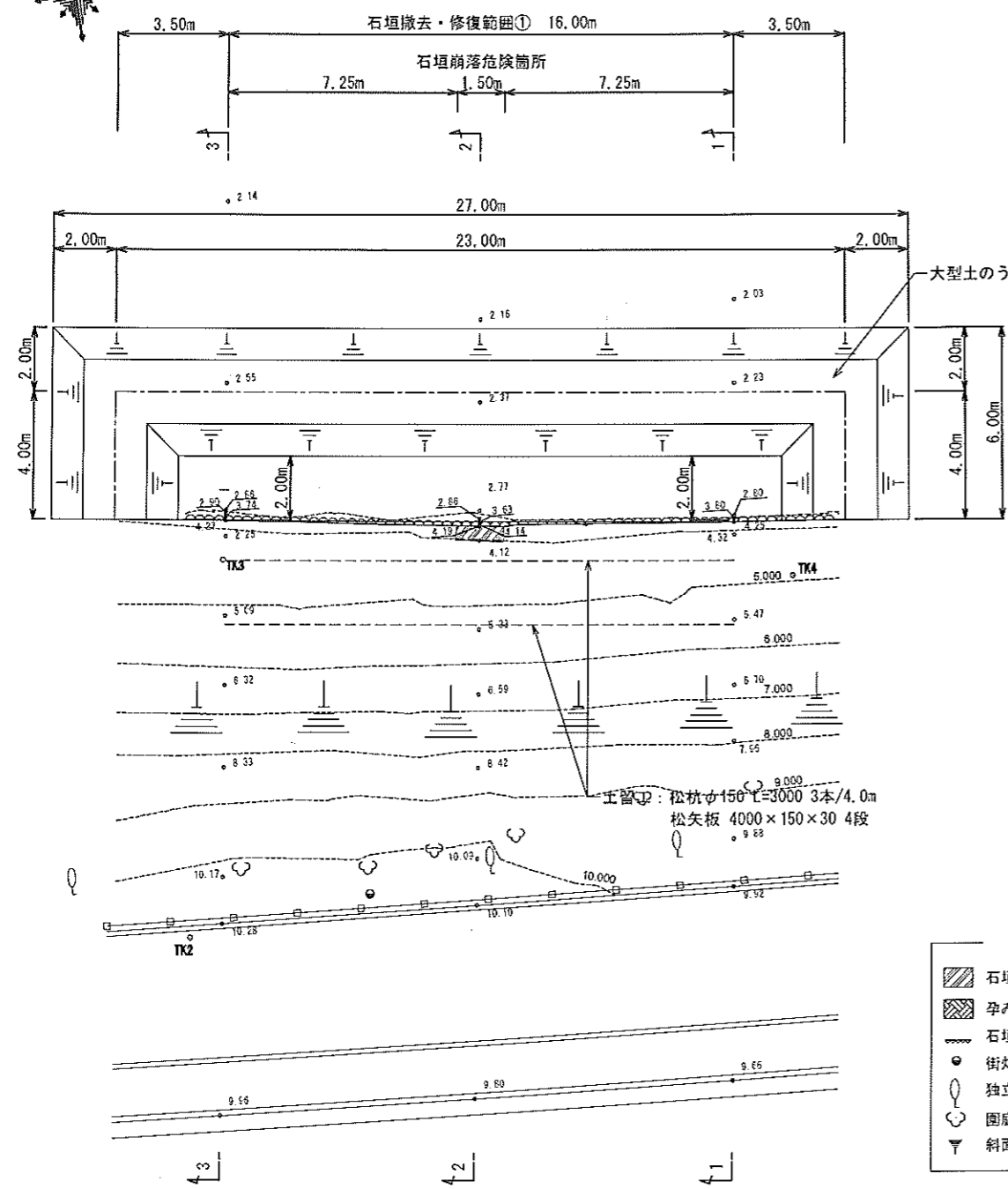
# 桜田濠①仮設計画図

国会議事堂側

縮尺 1 : 200 (1 : 100)

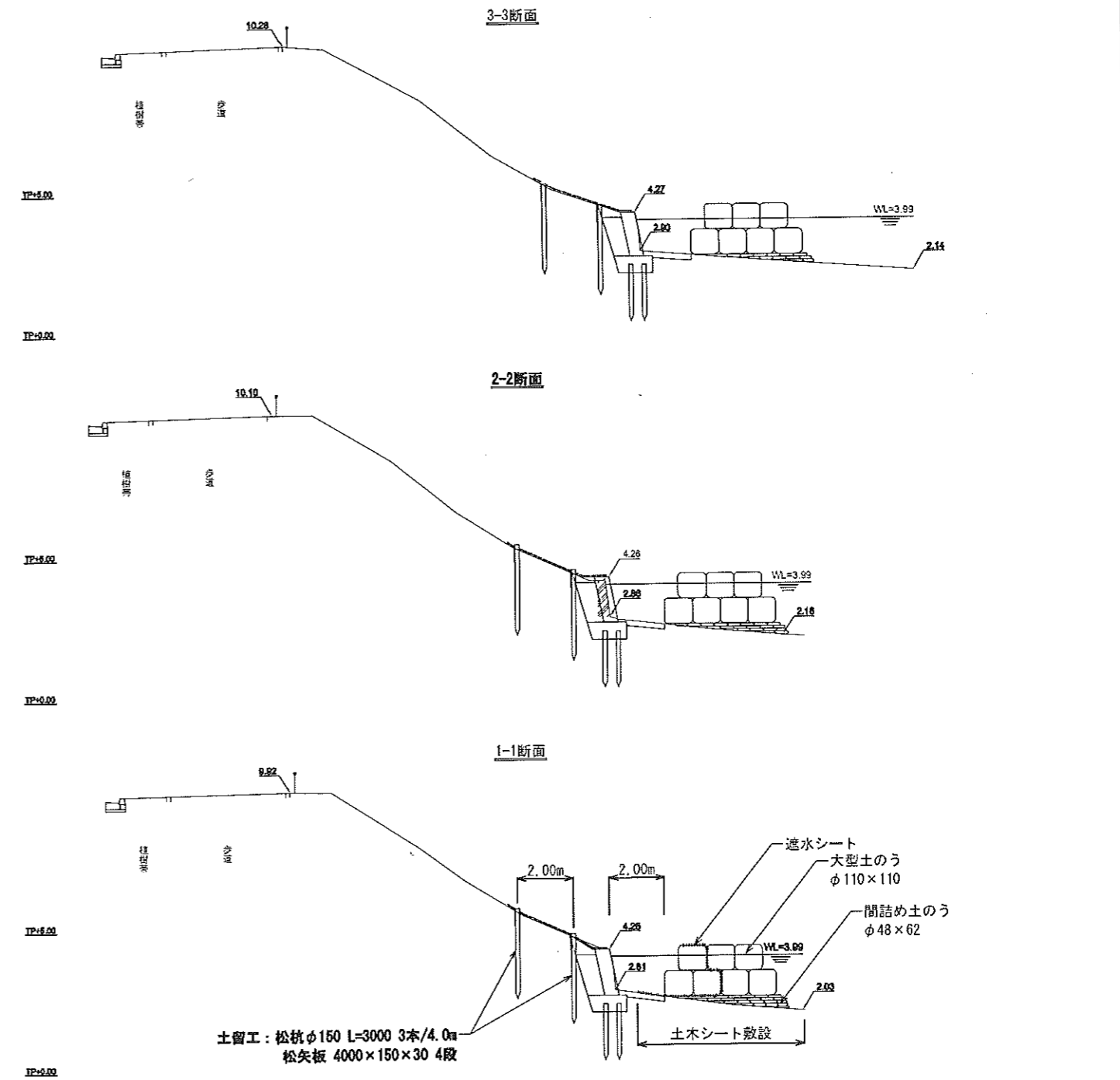


## 平面図



- 凡例
- 石垣崩落危険箇所
  - 孕み・緩み等の変状
  - 石垣
  - 街灯
  - 独立樹
  - 園庭
  - 斜面

## 断面図

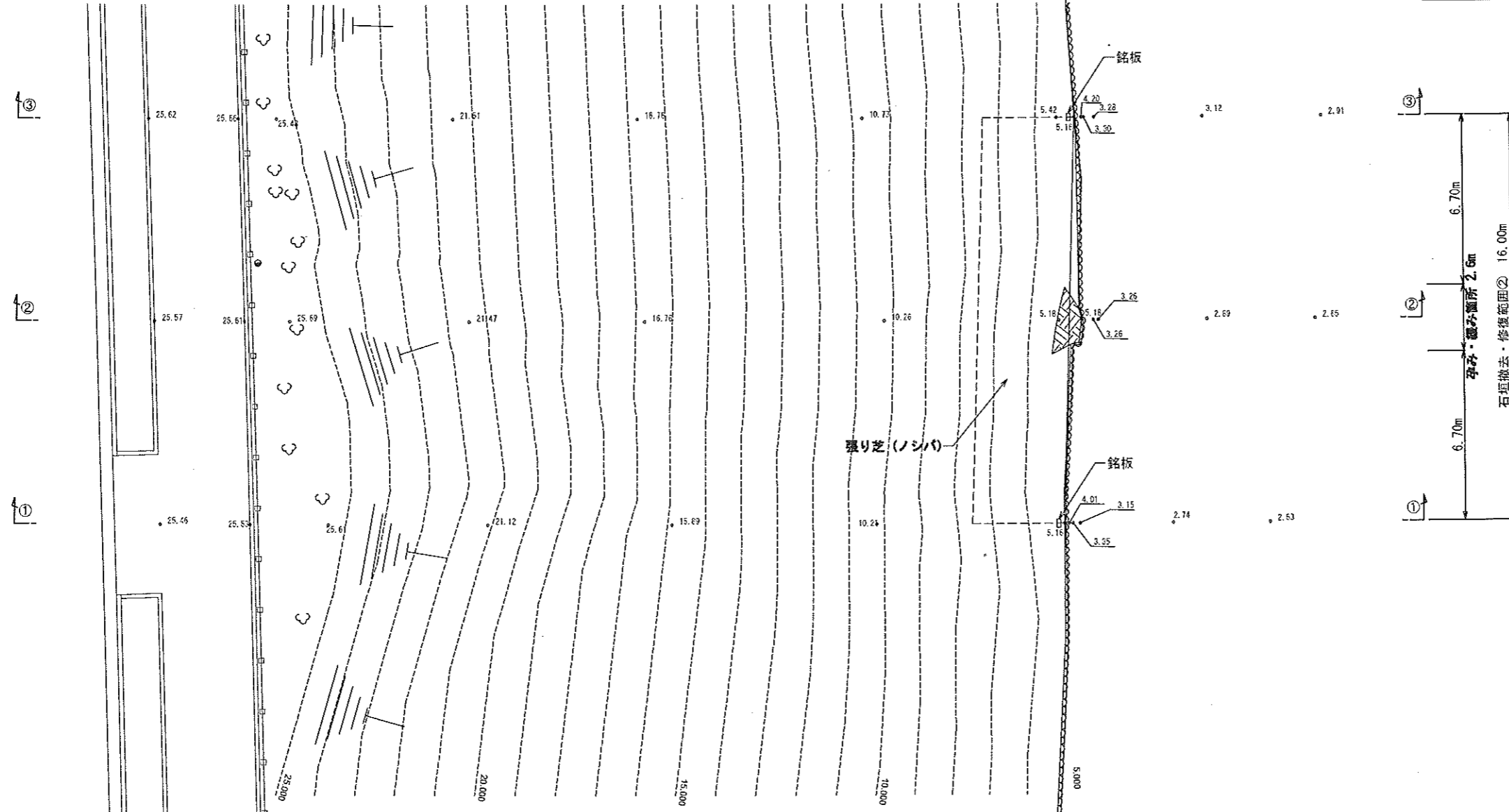
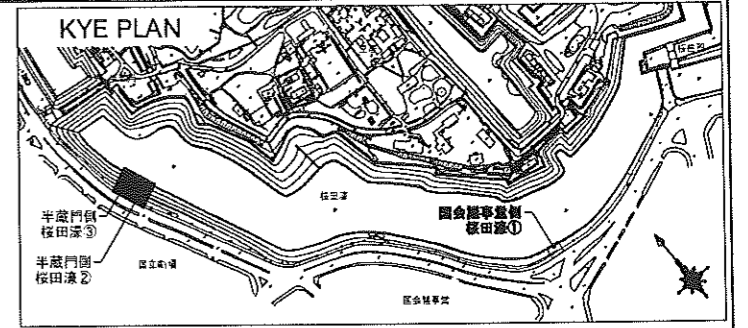


公園名称	皇居外苑 桜田濠		
工事名称	桜田濠石垣修復工事		
図面名称	桜田濠①仮設計画図	縮尺	1:200 (5:1:100)
年月日	平成27年	図面番号	4/14
会社名	有限会社	種別	設計
事務所名	東京都建設局皇居外苑管理事務所	種別	設計

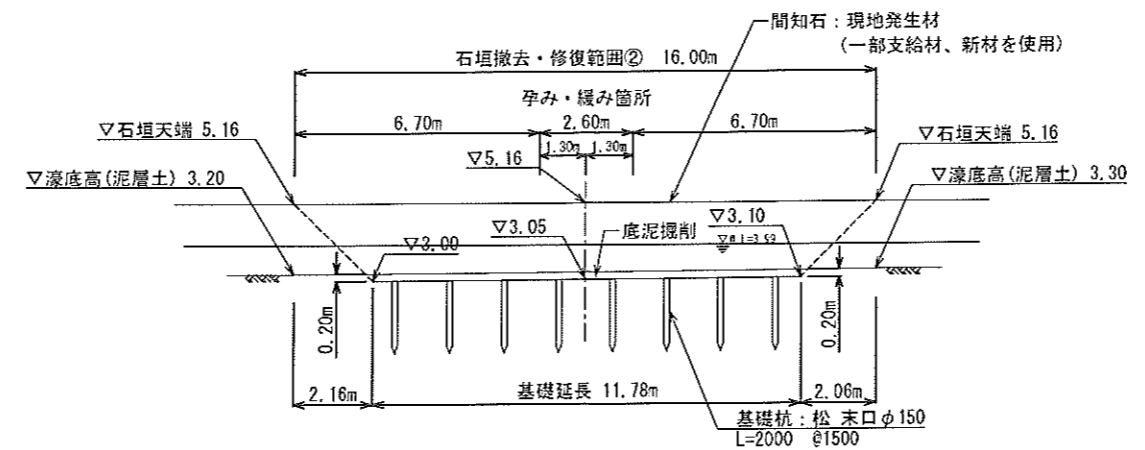
# 桜田濠②修復設計図-1 半蔵門側(南)

縮尺 1:200 (1:100)

平面図



正面図

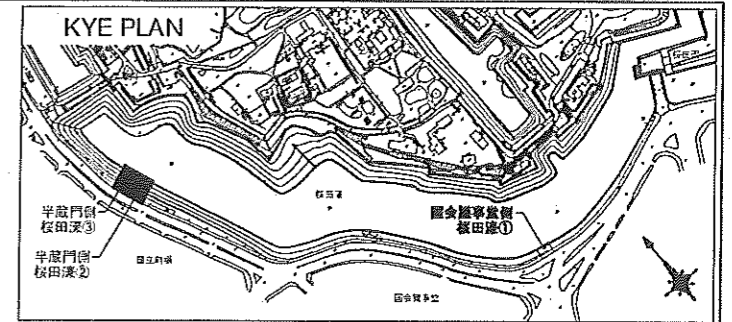


- 凡例
- 石垣崩落危険箇所
  - 孕み・緩み等の変状
  - 石垣
  - 街灯
  - 独立樹
  - 園庭
  - 斜面

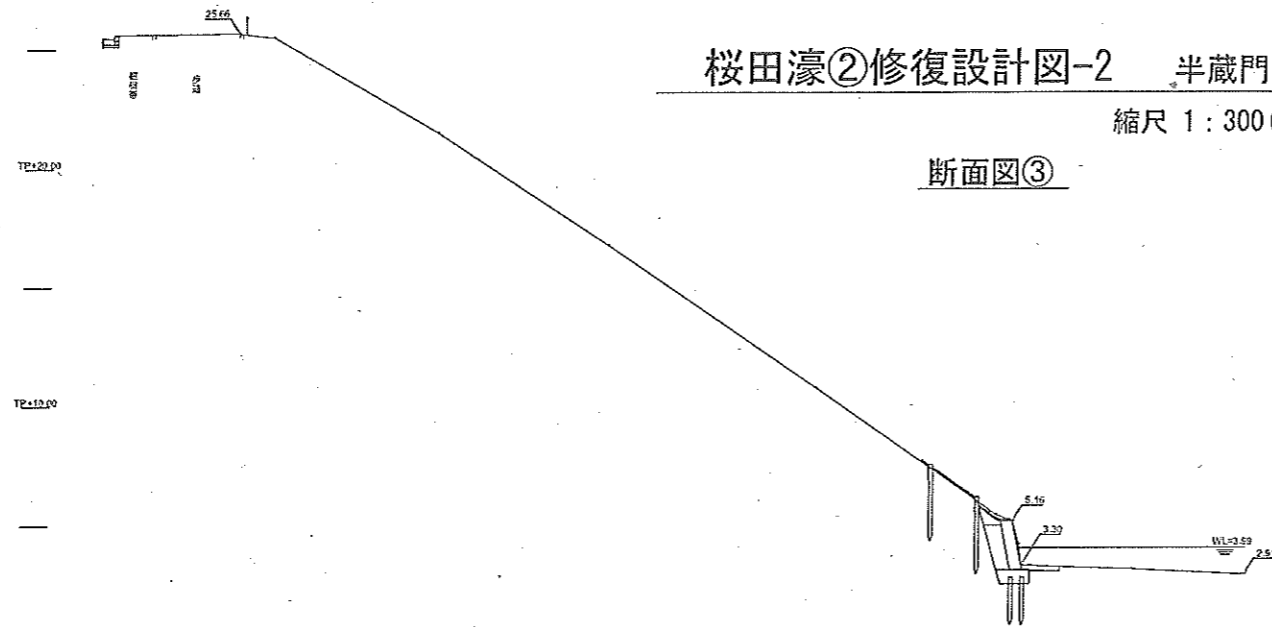
公園名称	皇居外苑 桜田濠	縮尺	1:200 (1:100)
工事名称	桜田濠石垣修復工事	図面番号	5/14
図面名称	桜田濠②修復設計図-1	年月日	平成27年
会社名	!	図面番	設計
事務所名	東京都自然環境局長官庁管理事務所	図面番	設計

# 桜田濠②修復設計図-2 半蔵門側(南)

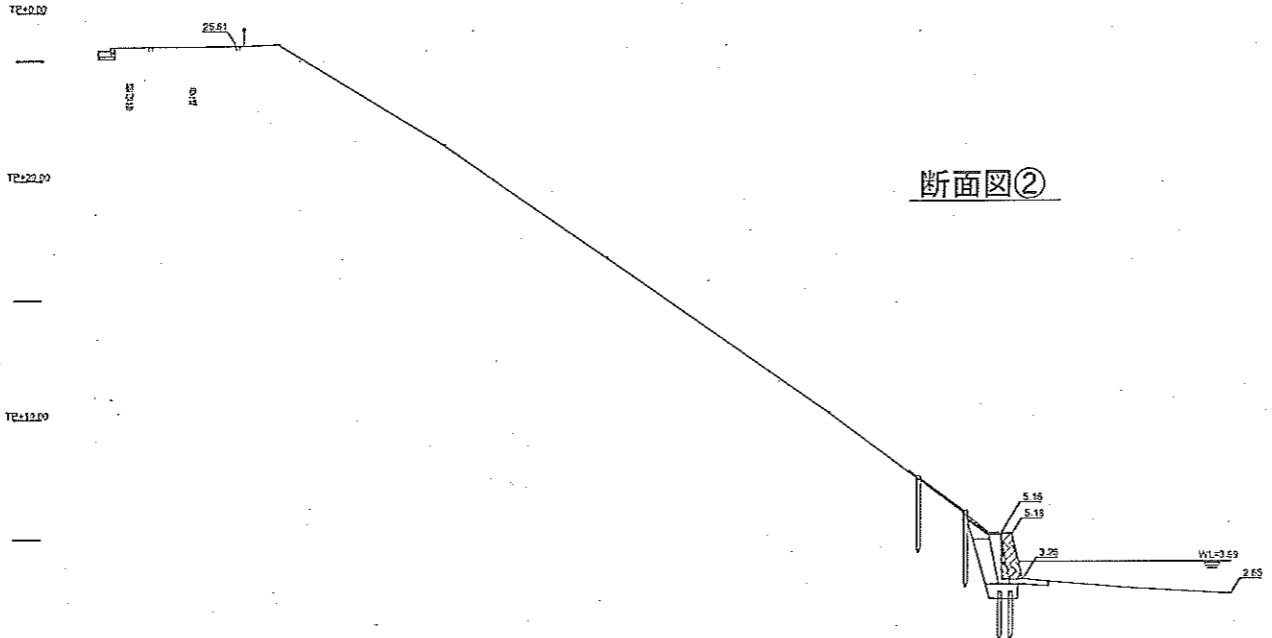
縮尺 1 : 300 (1 : 150)



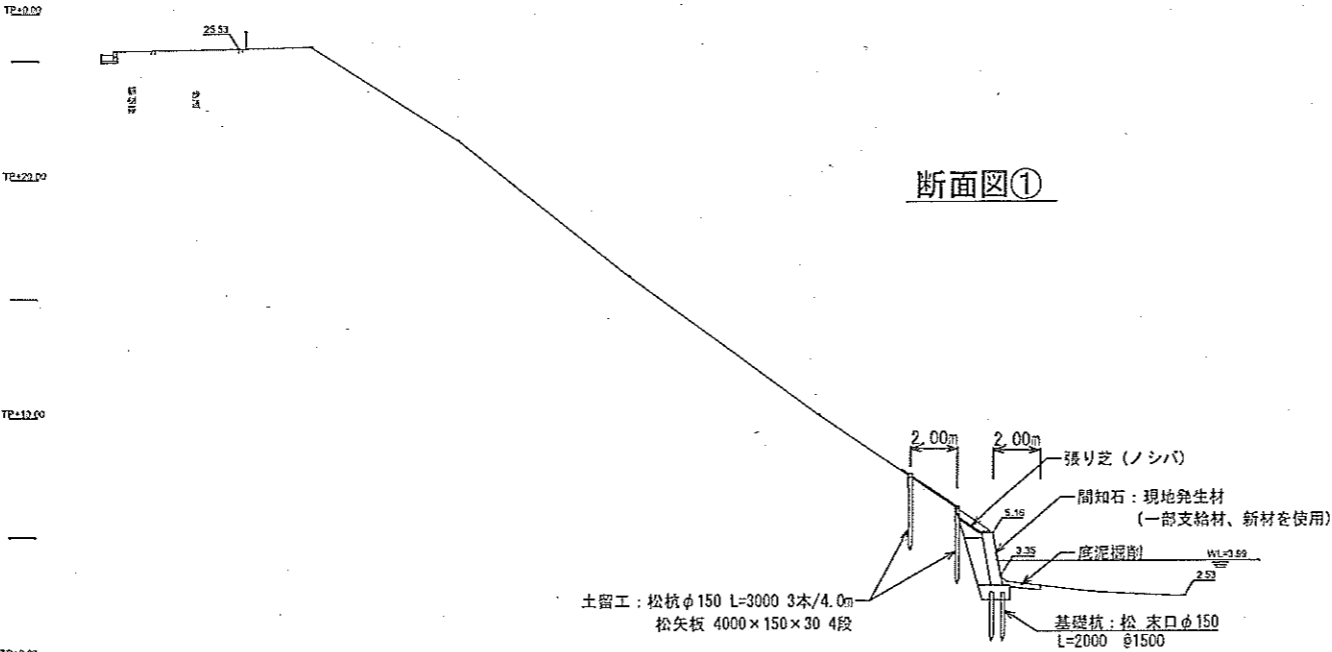
断面図③



断面図②



断面図①



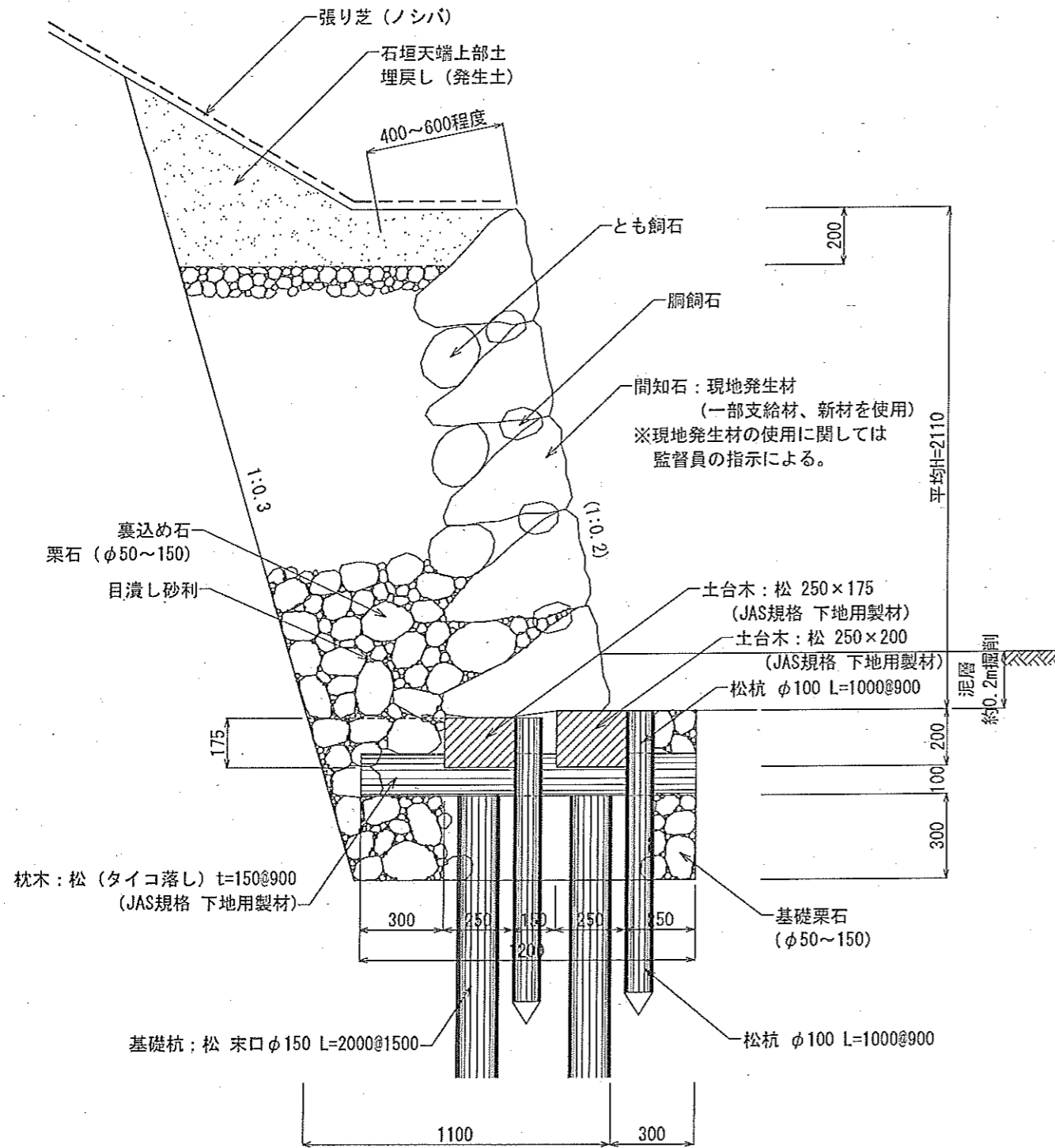
凡例

	石垣崩落危険箇所
	すみ・緩み等の変状
	石垣
	街灯
	独立樹
	園庭
	斜面

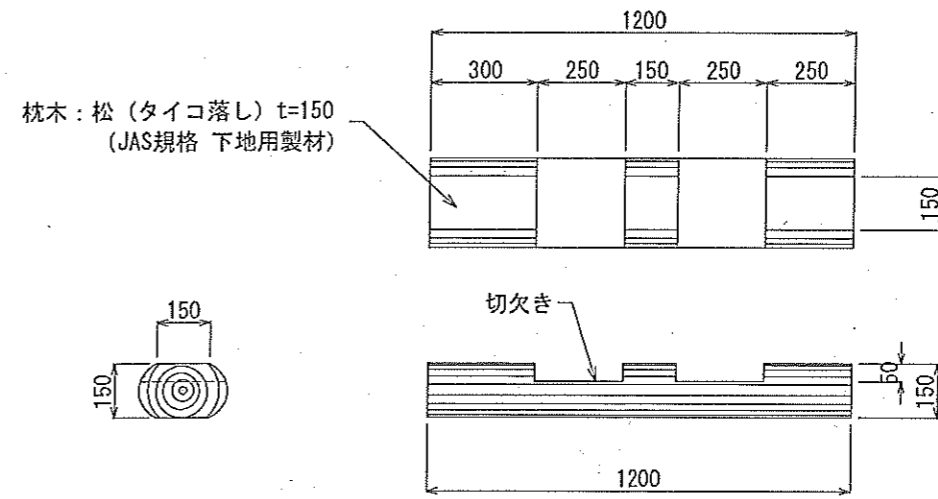
公園名称	皇居外苑 桜田濠		
工事名称	桜田濠石垣修復工事		
図面名称	桜田濠②修復設計図-2	縮尺	5:1:300 (5:1:150) 1:300 (1:150)
年月日	平成27年	図面番号	6 / 14
会社名		担当者	設計
事務所名	東京都建設局皇居外苑管理事務所	図案	設計



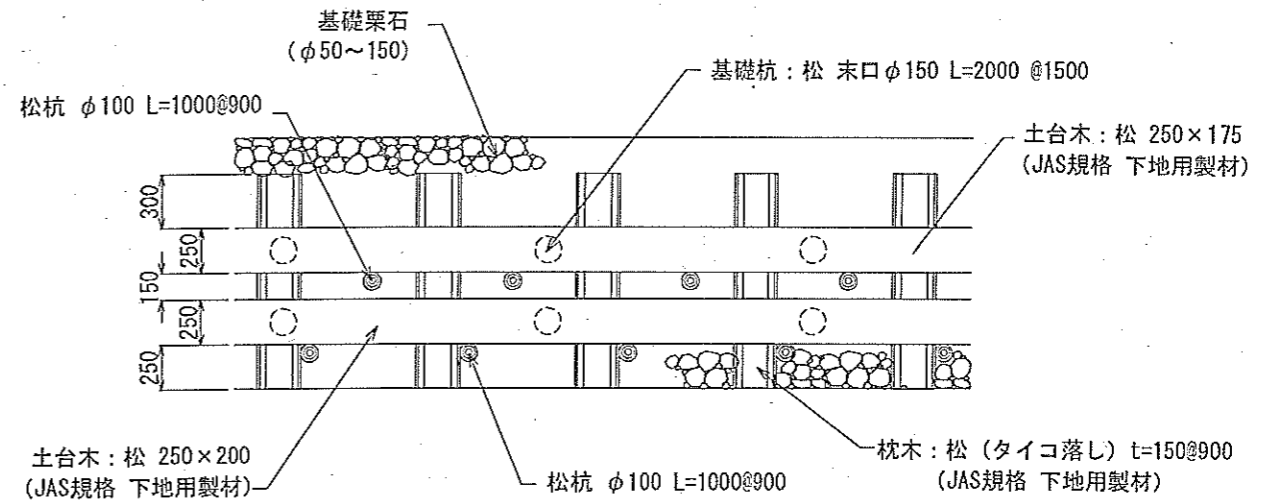
桜田濠②  
石垣標準断面図 S=1:20 (S=1:10)



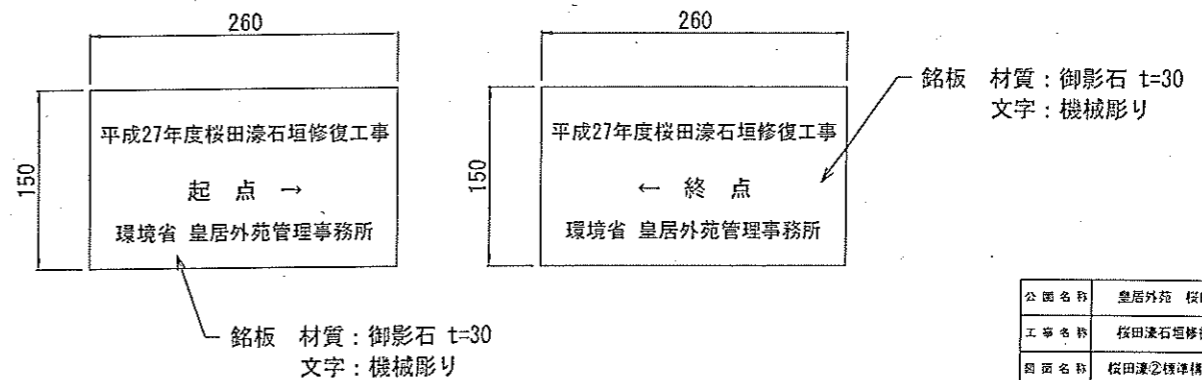
枕木詳細図 S=1:20 (S=1:10)



基礎詳細図 S=1:40 (S=1:20)



銘板詳細図 S=1:6 (S=1:3)

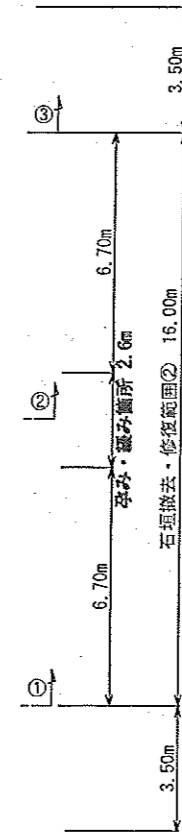
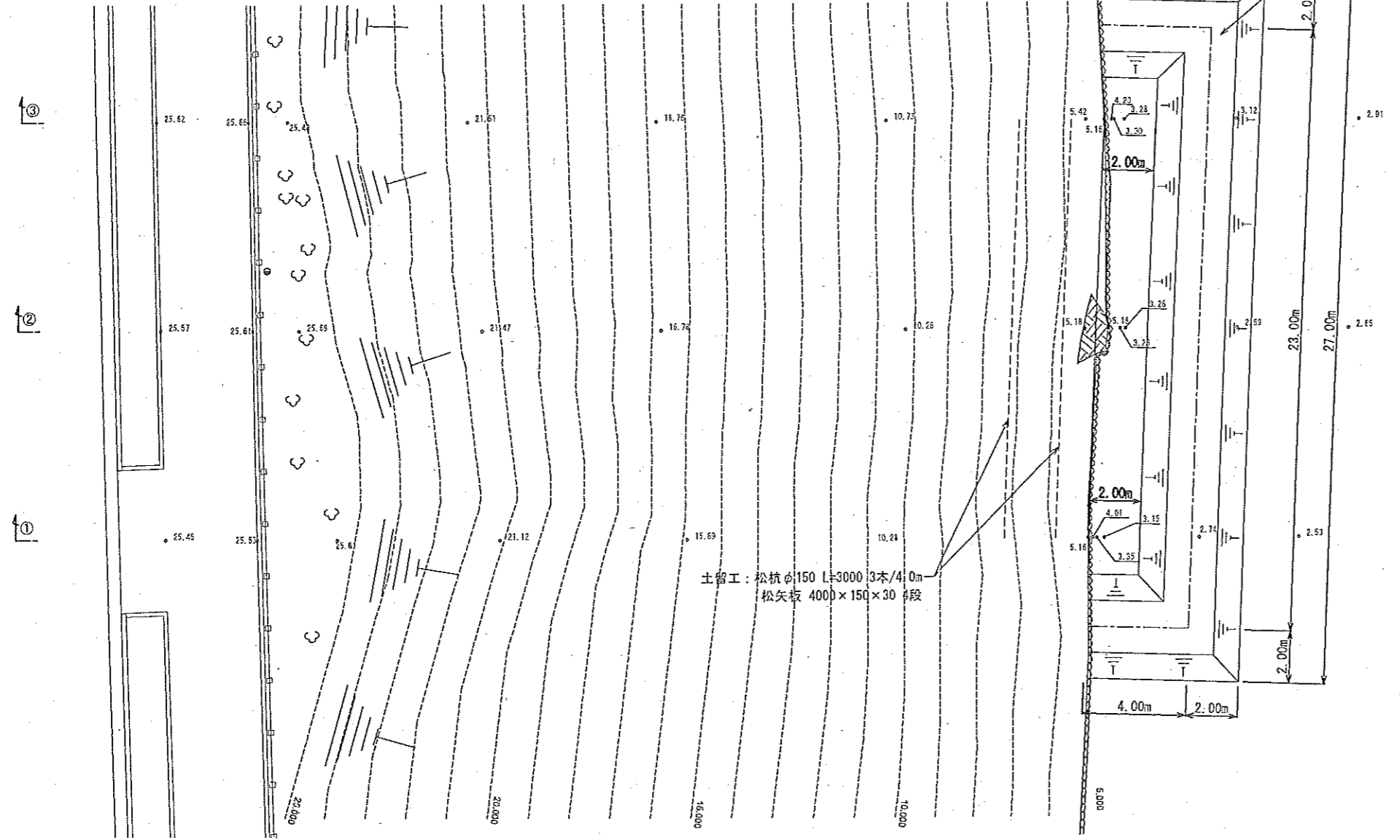
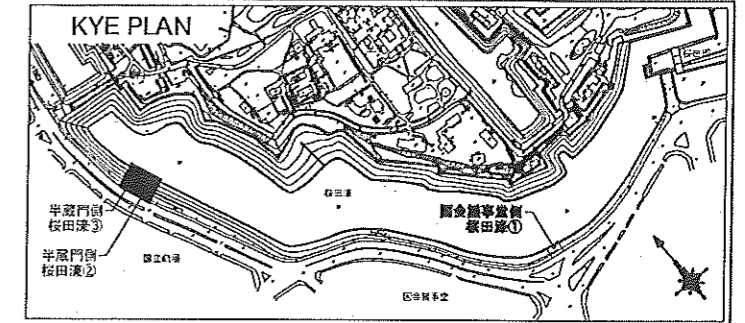


公園名称	皇居外苑 桜田濠		
工事名称	桜田濠石垣修復工事		
図面名称	桜田濠②標準構造図	図尺	図示 1:1000
年月日	平成27年	図面番号	7/14
会社名		担当者	設計
事務所名	環境省皇居外苑管理事務所	担当者	設計

桜田濠②仮設計画図-1 半蔵門側(南)

縮尺 1:200 (1:100)

平面図

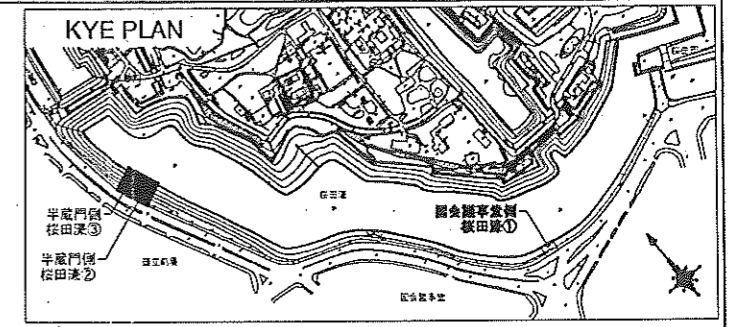


- 凡例
- 石垣崩落危険箇所
  - 孕み・緩み等の変状
  - 石垣
  - 街灯
  - 独立樹
  - 園庭
  - 斜面

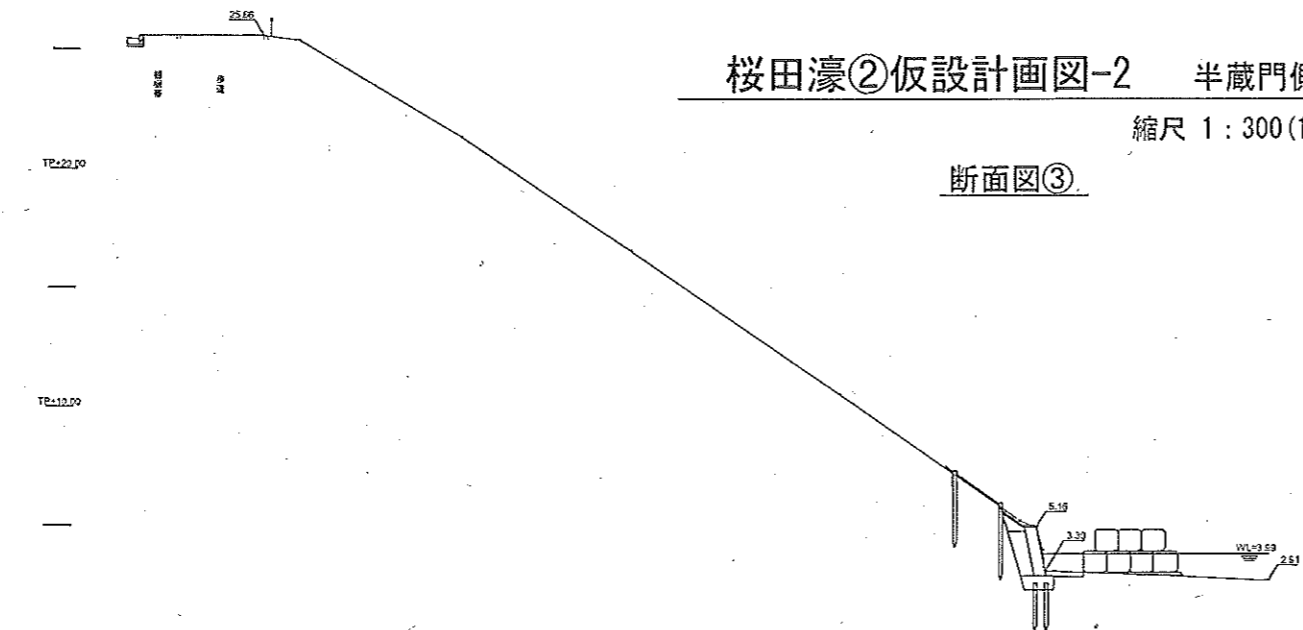
公園名称	皇居外苑 桜田濠		
工事名称	桜田濠石垣修復工事		
図面名称	桜田濠仮設計画図-1	縮尺	1:200 (1:100)
年月日	平成27年	図面番号	1.4
会社名	株式会社	図案	設計
事務所名	東京都建設局皇居外苑管理事務所	図案	設計

桜田濠②仮設計画図-2 半蔵門側(南)

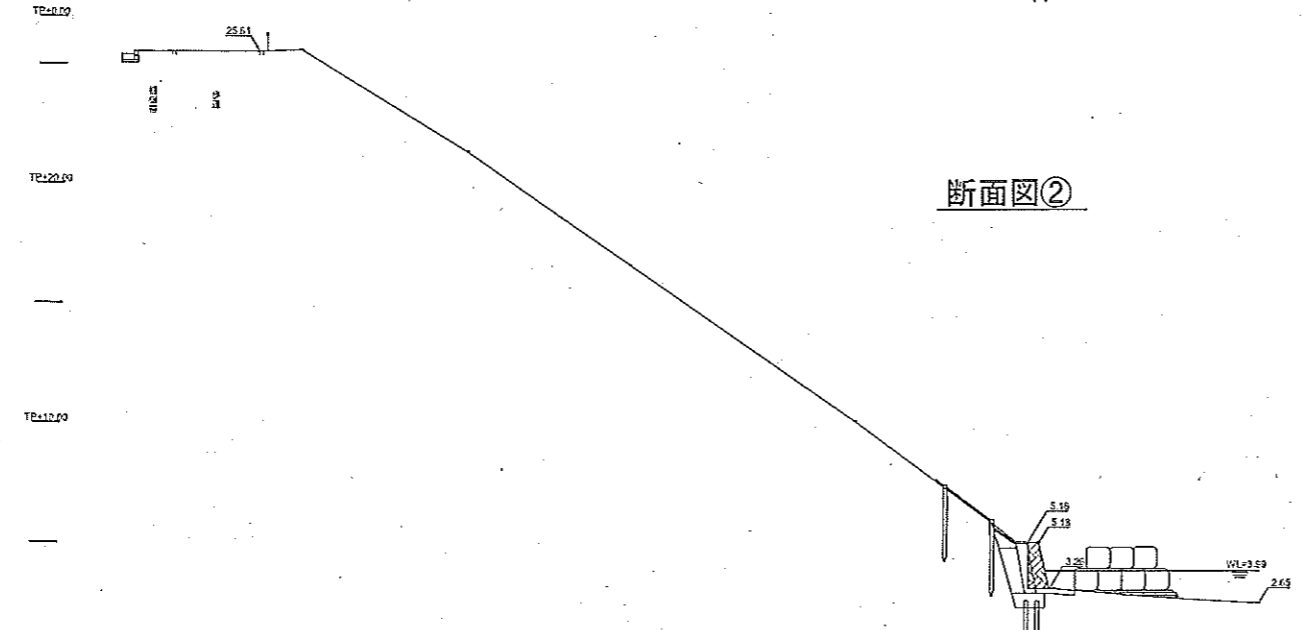
縮尺 1 : 300 (1 : 150)



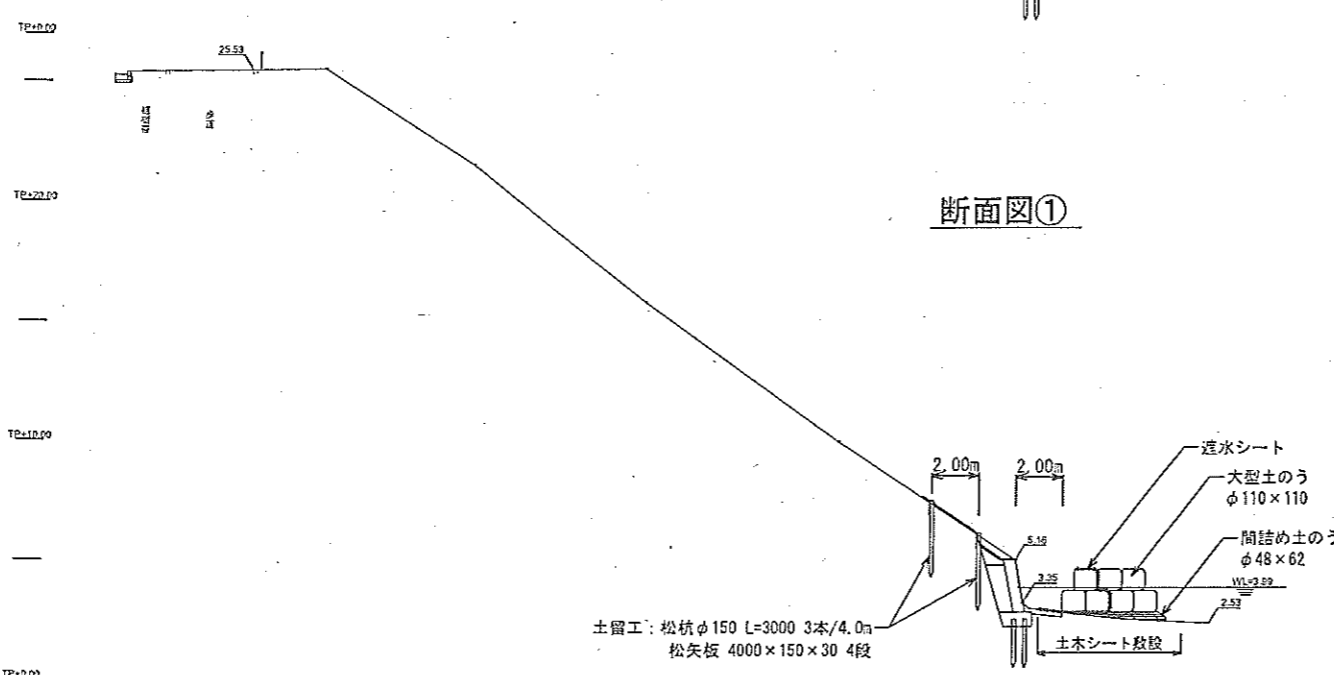
断面図③



断面図②



断面図①



- 凡例
- 石垣崩落危険箇所
  - 浮み・揺み等の変状
  - 石垣
  - 街灯
  - 独立樹
  - 園庭
  - 斜面

公園名称	皇居外苑 桜田濠		
工事名称	桜田濠石垣修復工事		
図面名称	桜田濠②仮設計画図-2	縮尺	1:300 (1:150)
年月日	平成27年	図面番号	9 / 14
会社名		図案	設計
事務所名	建設省自然環境局長官庁管理事務所	照写	設計

(別記様式 1)

## 競争参加資格確認申請書

平成 年 月 日

分任支出負担行為担当官  
環境省自然環境局  
皇居外苑管理事務所長 池田 りか 殿

住 所  
商号又は名称

代表者氏名



平成27年10月30日付で公告のあった平成27年度皇居外苑桜田濠石垣修復工事に係る競争参加資格について確認されたく、下記の書類を添えて申請します。

なお、本書の提出にあたり、暴力団排除に関する誓約事項に誓約し、予算決算及び会計令（昭和22年勅令第165号）第70条の規定に該当する者でないこと及び添付書類の内容については事実と相違ないことを誓約します。

### 記

- 1 入札説明書6(3)①に定める入札参加者（企業）の技術力（別記様式2）
- 2 入札説明書6(3)②に定める配置予定技術者の能力（別記様式3）
- 3 入札説明書6(3)③に定める技術提案書（別記様式4から7）  
（添付書類頁数：全〇〇）

### 申請書に関する問い合わせ先

担当者	〇〇 〇〇
部 署	〇〇〇〇 〇〇支店
連絡先	〒 電 話 : F A X : E-mail :

(注1) 添付書類により確認できない実績等は評価しない。また、添付書類は、通し番号で頁を付するとともに全頁数を表示（1/〇〇～〇〇/〇〇）すること。なお、重複する添付書類は、1部でよい。

(別記様式2)

## 入札参加者（企業）の技術力

工事名：平成27年度皇居外苑桜田濠石垣修復工事

会社名：\_\_\_\_\_

同種工事の施工実績 (※1)	工事名称	
	発注機関名	
	工期	平成○年○月○日～平成○年○月○日
	受注形態等 (※2)	単体・○○共同企業体(構成員：○○)(出資比率：○○%)
	CORINSへの登録 (※3)	有(登録番号：000-0000-00)・無(添付書類頁：0/00～0/00)
	特別史跡の名称	
施工内容・規模 (※4)	(添付書類頁：0/00～0/00)	
表彰 (※5)	工事表彰	○○表彰(○○局長等・平成○年○月○日)(添付書類頁：0/00～0/00)
	安全管理表彰	○○表彰(○○局長等・平成○年○月○日)(添付書類頁：0/00～0/00)
IS09001又はIS014001の 認証(※6)	○○認証取得済み(添付書類頁：0/00～0/00)・未取得	

〈注記〉

- ※1：平成17年度以降に、工事が完成し引渡し済みのものに限り記載すること。
- ※2：単体で受注した場合は、「単体」と記載し、共同企業体で受注した場合は、共同企業体名とその構成員名を記載すること。さらに共同企業体の場合で、特定または経常の甲型の場合は出資比率を、特定または経常の乙型の場合は分担施工金額の比率を記載すること。
- ※3：いずれかに○を付す。有に○を付した場合はCORINS登録番号を記載すること。無に○を付した場合は契約書(工事名、発注者、請負者、施工場所、契約金額、工期の確認できる部分)の写しを添付すること。
- ※4：施工方法・規模を記載し、当該規模が確認できる設計図書等(特記仕様書等または図面及び数量表等(当該部分が判るよう着色等を行うこと。))の写しを添付すること。
- ※5：平成17年4月1日以降に国または地方公共団体から表彰を受けている場合は、表彰名、表彰者名、表彰日を記載し、表彰状の写しを添付すること。「工事表彰」は、優良工事表彰、優良工事施工団体表彰またはイメージアップ優良工事表彰等とし、「安全管理表彰」は、安全管理優良請負者表彰等とする。なお、下請け工事に係る表彰等は除くこととし、配置予定技術者の能力(別記様式3)に記載する表彰と重複しない記載とすること。表彰を受けていない場合は、「無」と記載すること。
- ※6：認証を取得している場合は、認証の取得に係る登録証の写し及び直近の審査報告書(初回審査、定期審査または更新審査のいずれかを対象として審査登録機関が発行したものに限る。)の写し及び同審査に係る合否判定結果の写しを添付すること。

(別記様式3)

## 配置予定技術者の能力

工事名：平成27年度皇居外苑桜田濠石垣修復工事  
会社名：\_\_\_\_\_

配置予定技術者の従事役職・氏名(※1)	主任(監理)技術者 ○○ ○○	
法令による資格・免許(※2)	1級土木施工管理技士(技術士○○部門:○○)(取得年月日) 監理技術者資格(取得年月日及び登録会社) 監理技術者講習(取得年月日) (添付書類頁:0/00~0/00)	
同種工事の施工経験(※3)	工事名称	
	発注機関名	
	工期	平成○年○月○日 ~ 平成○年○月○日
	従事役職(※4)	現場代理人・主任技術者・監理技術者・○○担当技術者 (添付書類頁:0/00~0/00)
	CORINSへの登録(※5)	有(登録番号:000-0000-00)・無(添付書類頁:0/00~0/00)
	特別史跡の名称	
施工内容・規模(※6)	(添付書類頁:0/00~0/00)	
表彰(※7)	工事表彰	○○表彰(○○局長等・平成○年○月○日)(添付書類頁:0/00~0/00)
	安全管理表彰	○○表彰(○○局長等・平成○年○月○日)(添付書類頁:0/00~0/00)
申請時における他工事の従事状況等(※8)	工事名称	
	発注機関名	
	工期	平成○年○月○日 ~ 平成○年○月○日
	従事役職	現場代理人・主任技術者・監理技術者
本工事と重複する場合の対応措置		

〈注記〉

- ※1: 複数の配置予定技術者がいる場合、技術者ごとに記載する(技術者1人につき1様式)。
- ※2: 資格・免許等確認できる書類(1級土木施工管理技士の合格証明書、監理技術者資格者証(表裏面とも)、監理技術者講習修了証(平成16年2月29日以前に監理技術者資格者証の交付を受けた者を除く。また平成16年2月29日以前に監理技術者講習を受けた者は指定講習受修修了証とする。))の写しを添付すること。また、監理技術者資格者証により直接的かつ恒常的な雇用関係が明確に判断出来ない場合には、健康保険被保険者証等の写しを添付すること。
- ※3: 入札参加者(企業)の技術力(別記様式2)の注記※1に同じ。
- ※4: 当該技術者が担当した技術的内容が確認できる当該工事の現場代理人等通知書または施工計画書(表紙等(工事名の記載、現場代理人等の押印があること。))及び現場組織図等の写しを添付すること。
- ※5: 入札参加者(企業)の技術力(別記様式2)の注記※3に同じ。
- ※6: 入札参加者(企業)の技術力(別記様式2)の注記※4に同じ。
- ※7: 平成17年4月1日以降に国または地方公共団体から表彰を受けている場合は、表彰名、表彰者名、表彰日を記載し、表彰状の写しを添付すること。「工事表彰」は、優良工事技術者表彰または優良建設技術者表彰等とし、「安全管理表彰」は、安全管理優良技術者表彰等とする。なお、下請け工事に係る表彰等は除くこととし、入札参加者(企業)の技術力(別記様式3)に記載する表彰と重複しない記載とすること。表彰を受けていない場合は、「無」と記載すること。
- ※8: 申請時における他工事の従事状況は、従事しているすべての工事について、本工事を落札した場合の技術者の配置予定等を記入すること。

(別記様式 4)

技術提案書 (施工体制に関する技術的所見)

工事名 : 平成 2 7 年度皇居外苑桜田濠石垣修復工事  
会社名 : \_\_\_\_\_

項 目	技術的所見
① 工程計画、工事手順、施行体制に関する事項	

(別記様式 5)

技術提案書 (施工方法に関する技術的所見)

工事名：平成 27 年度皇居外苑桜田濠石垣修復工事

会社名：\_\_\_\_\_

項 目	技術的所見
① 仮設工に関する事項	



(別記様式 5)

技術提案書 (施工方法に関する技術的所見)

工事名 : 平成 27 年度皇居外苑桜田濠石垣修復工事

会社名 : \_\_\_\_\_

項 目	技術的所見
② 石積修復工に関する事項	

(別記様式 6)

技術提案書 (安全管理に関する技術的所見)

工事名：平成 27 年度皇居外苑桜田濠石垣修復工事

会社名：\_\_\_\_\_

項 目	技術的所見
① 安全管理に関する事項	

(別記様式 7)

技術提案書 (施工上配慮すべき所見)

工事名 : 平成 27 年度皇居外苑桜田濠石垣修復工事

会社名 : \_\_\_\_\_

項 目	技術的所見
① 国民公園皇居外苑の運営に関する事項	

## 総合評価落札方式の内容

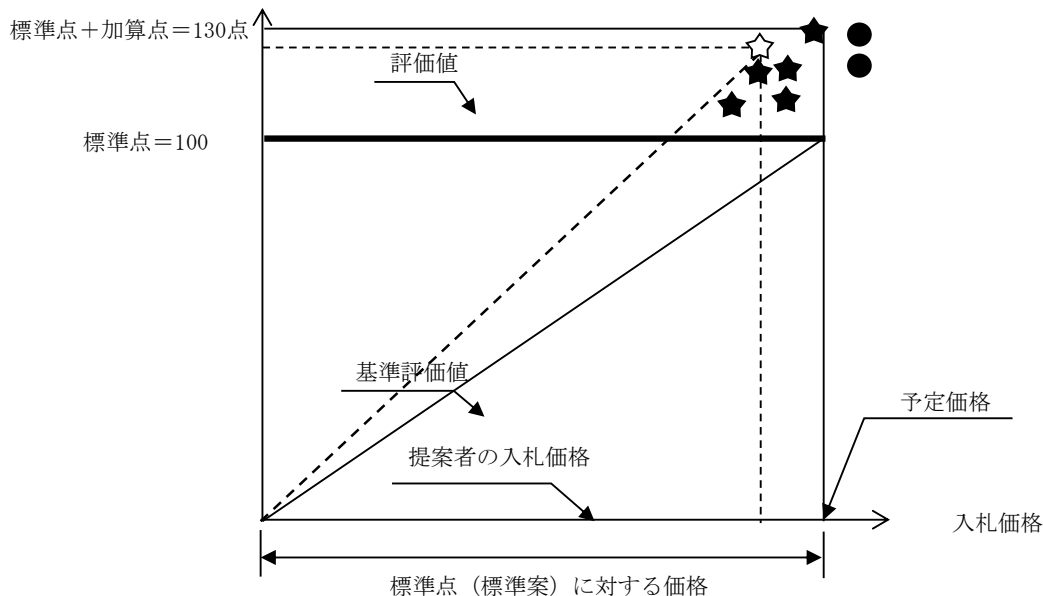
### 1. 総合評価落札方式（簡易型）の考え方

総合評価落札方式（簡易型）は、各評価項目毎の評価内容に係る点数評価方法であり、5、加算点の付与の考え方により点数を付与する方式である。

### 2. 総合評価の仕組み

#### ① 総合評価の仕組み

総合評価の仕組みを以下に示す。



- ☆：落札者
- ★：非落札者（落札条件を満たすが他と比べ評価値が低い者）
- ：者

$$\begin{aligned} \text{基準評価値} &= \text{標準点（100点）} / \text{予定価格} \\ \text{評価値} &= (\text{標準点+加算点}) / \text{入札価格} \end{aligned}$$

予定価格＝標準案に対する工事費  
入札価格＝技術提案内容等に対する見積工事費

#### ② 落札者の決定方法

以下の条件を満たし、評価値が最も高い者を落札者とする。

- a. 入札価格 ≤ 予定価格
- b. 最低限の要求要件（標準案の条件）を満たすこと（標準点以上）
- c. 評価値 ≥ 基準評価値

\* 条件を満たし、評価値の最も高い者が2者以上あるときは、該当者にくじを引かせて落札者を決定する。

### 3. 評価項目及び評価指標

#### ① 技術提案：次の提案について評価する。

- \* 施工体制に関する技術的所見
- \* 施工方法に関する技術的所見
- \* 安全管理に関する技術的所見
- \* 施工上配慮すべき所見

#### ② 入札に参加しようとする者の施工能力、技術力に関する事項

- 同種工事の施工実績により評価
- 指定する表彰及び認証の有無により評価

#### ③ 配置予定技術者の能力に関する事項

- 同種工事の実績及
- 指定する表彰の有無により評価

4. 標準点及び加算点

- ①標準点 : 発注者が求める条件(標準案)を満たしていれば、標準点として50点を付与する。  
 ②加算点 : 5. 加算点の付与の考え方に応じて付与する点数とする。

5. 加算点の付与

入札参加者に対する加算点付与の考え方は以下の通りとする。

評価項目及び指標		加算点 (下記に示す点数の範囲で付与する)
技術提案書	施工体制に関する技術的所見	1
	施工方法に関する技術的所見	12
	安全管理に関する技術的所見	8
	施工上配慮すべき事項	0.5
入札参加者(企業)の施工能力	同種工事の施工実績	4
	表彰及の有無	0.2
	ISOの認証の有無	0.1
配置予定技術者の能力	同種工事の施工実績	4
	表彰の有無	0.2
合計加算点の最大値		30

6. 落札者の決定

評価値及び落札者の決定(入札参加者が10社の場合の例)

入札者	標準点	加算点 合計	点数 合計 (a)	入札価 格 (b)	評価値 (a/b)	評価順位 (落札者)	
①	100	30.0	130.0	0.980	132.65		5
②	100	27.0	127.0	0.930	136.56		3
③	100	25.0	125.0	0.900	138.89		1
④	100	20.0	120.0	0.900	133.33		4
⑤	100	21.0	121.0	0.880	137.50		2
⑥	100	10.0	110.0	0.860	127.91		7
⑦	100	5.0	105.0	0.850	123.53		8
⑧	100	0.0	100.0	0.780	128.21		6
⑨	100	30.0	130.0	1.100	—	注1	—
⑩	100	20.0	120.0	1.100	—	注1	—

- ・注1 : 予定価格を超過
- ・☆ : 落札者
- ・予定価格=1.0(千万円)の場合
- ・加算点、評価値については、少数第5位切り捨て。

平成25年度皇居外苑「特別史跡江戸城跡」日比谷濠石垣修復工事

評価項目		得点配分		採点基準		評価点の採点	加点の採点
		標準点	加点	標準点	加点		
技術提案書	施行体制に関する技術的所見	60	1	工事仕様書が遵守された提案書であれば得点	工程計画、工事手順、施行体制に関する事項		
	施工方法に関する技術的所見		4		仮設工に関する事項		
			8		石垣修復工に関する事項		
	安全管理に関する技術的所見		8		安全管理に関する事項		
	施工上配慮すべき所見		0.5		国民公園皇居外苑の運営に関する事項		
入札参加者(企業)の技術力	同種工事の施工実績	20	4	同種工事の施工実績があれば得点	城郭の水鼓土居の空石積みの石垣修復工事であれば:優 城郭の腰巻土居の空石積みの石垣修復工事であれば:良 城郭のその他の空石積みの石垣修復工事であれば:可 可:0.8点とする		
	表彰(工事表彰、安全管理表彰)		0.2		表彰があれば加点 有:0.2点とする		
	ISOの認証		0.1		認証があれば加点 有:0.1点とする		
配置予定技術者の能力	同種工事の施工実績	20	4	同種工事の施工実績があれば得点	城郭の水鼓土居の空石積みの石垣修復工事であれば:優 城郭の腰巻土居の空石積みの石垣修復工事であれば:良 城郭のその他の空石積みの石垣修復工事であれば:可 可:0.8点とする		
	表彰(工事表彰、安全管理表彰)		0.2		表彰があれば加点 有:0.2点とする		
評価点合計							

- ・標準点部分の採点については、採点基準を満たせば標準点全部を得点とする
- ・加点部分の採点については、配点5点の場合、採点基準に基づき、優:5点、良:3点、可:1点、不可:0点の4段階評価とし、配点に応じて係数をかけて得点を算出する
- ・加点部分の「不可:0点」については、標準点の基準は満たされている(標準点は得点)が、加点部分の採点基準を満たしていない場合である

(別記様式8)

入 札 書

平成 年 月 日

分任支出負担行為担当官  
環境省自然環境局  
皇居外苑管理事務所長 殿

住 所

会 社 名

代表者氏名

代理人等

印

下記のとおり入札します。  
なお、入札にあたり、暴力団排除に関する誓約事項に誓約します。

記

- 1 入札件名：平成27年度皇居外苑桜田濠石垣修復工事
- 2 入札金額：金額 円
- 3 契約条件：契約書及び仕様書その他一切貴所の指示のとおりとする。

(別記様式9)

辞 退 届

平成 年 月 日

分任支出負担行為担当官  
環境省自然環境局  
皇居外苑管理事務所長 殿

住 所

会 社 名

代表者氏名

代理人等

印

下記について指名を受けましたが、都合により入札を辞退します。

記

入札件名：平成27年度皇居外苑桜田濠石垣修復工事



(別記様式10(1))

## 委 任 状

平成 年 月 日

分任支出負担行為担当官  
環境省自然環境局  
皇居外苑管理事務所長 殿

住 所  
(委任者) 会 社 名  
代表者氏名

印

代理人住所  
(受任者) 所属 (役職名)  
氏 名

印

当社は、 を代理人と定め、下記の権限を委任いたします。

### 記

(委任事項)

- 1 平成27年度皇居外苑桜田濠石垣修復工事の入札に関する一切の件
- 2 1の事項に係る復代理人を選任すること。

(別記様式10(2))

## 委 任 状

平成 年 月 日

分任支出負担行為担当官  
環境省自然環境局  
皇居外苑管理事務所長 殿

代理人住所  
(委任者) 所属 (役職名)  
氏 名

印

復代理人住所  
(受任者) 所属 (役職名)  
氏 名

印

当社は を復代理人と定め、下記の権限を委任いたします。

記

(委任事項)

- 1 平成27年度皇居外苑桜田濠石垣修復工事の入札に関する一切の件

(別記様式 1 1)

平成 年 月 日

分任支出負担行為担当官  
環境省自然環境局  
皇居外苑管理事務所長 殿

会社住所

会社名

連絡先 電話

ファックス

(担当者名 )

### 質 問 書

整理番号	
------	--

件 名 : 平成 2 7 年度皇居外苑桜田濠石垣修復工事

問合先ファックス番号

03(3201)1017

(別記様式12)

入札書を入れた封筒の記載例  
(表)

平成 皇居外苑管理事務所 長 殿

入札書を入れた封筒の記載例

(裏)

印

印

住所 ○

○ ○

○ ○

○ ○

○

○

印